

さらべつまるごと ブランディング計画



令和3年3月
北海道更別村

目 次

第1章 計画の基本的事項	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画期間	1
3 ブランド化の基本的な考え方	1
第2章 更別村の現状と課題	3
1 更別村の概況	3
2 更別村地域の現状と課題	3
(1) 観光入込状況	3
(2) 更別村の主な観光施設等	14
(3) 更別村の強み・弱み	17
3 更別村市街地活性化実施計画	18
(1) 評価	20
第3章 ブランド確立に向けた賑わい創出プロジェクト	22
1 交流拠点エリアの再整備	22
(1) 地域創造複合施設周辺のリニューアル	22
2 アウトドア観光＋大規模農業によるブランド化	25
(1) どこでもキャンプ	25
(2) 十勝の野遊び観光のハブ化	26
3 その他のプロジェクト	28
(1) 案内表示(看板等)のリニューアル	28
(2) 公共施設の稼働率向上	28
(3) ウォーキングコースの設定と環境整備	28
(4) 花いっぱい活動	28
(5) 未利用空き家(廃屋)の整理	29
(6) 情報発信力の強化	29
資料編	
1 平成30年度事業報告	30
(1) 協議会・ワークショップ運営	30
(2) モニターアンケート調査結果(概要)	35
2 令和元年度事業報告	43
(1) 協議会・ワークショップ運営	43
(2) イベント出展「さらべつすもの里まつり」	45
(3) イベント出展「スロウ村の仲間たち 2019」	46
3 令和2年度事業報告	47
(1) 協議会・ワークショップ運営	47
(2) 実証実験「アウトドアオフィス・どこでもバーベキュー」	50
(3) 実証実験「さらべつグルメRUN」	50
4 更別村ブランディング協議会委員名簿	51

第1章 計画の基本的事項

1 計画策定の背景と目的

本村は、第6期総合計画において、「住みたい 住み続けたいまち ともにつくりたい みんなの夢大地」をまちづくりのテーマとして掲げ、具体的実現する方向を、6つの基本目標「便利に生活できるまちづくり」「産業が元気なまちづくり」「心身の健康を支えるまちづくり」「環境を守り安心して生活できるまちづくり」「人が育つまちづくり」「知恵を出し合うまちづくり」として定めています。

その内、「産業が元気なまちづくり」では、観光関連産業における基本的な考え方、取り組み方針として「更別の地域資源や既存施設などを有効に利用して、更別ならではの観光を振興します」と掲げています。

また、令和2年度に策定した「第2期更別村まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても基本目標4の「豊かな暮らしを営む地域をつくります」の中で、「地域資源を活かした個性あふれる地域の形成」が施策として明示されており、地域経済の活性化を図るため、地域の資源を活用した観光地づくりを推進し、ブランディング計画の策定におけるまちの駅計画の推進など、観光消費の拡大への取り組みを推進することとしています。

本計画では、第6期更別村総合計画の趣旨に則り、第2期更別村まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに、地域の魅力を再発見・再整備することにより、地域全体のブランド化を図ることとします。

2 計画期間

計画の期間は、令和3年度を初年度として、令和12年度までの10年間とします。

計画された事業については、第6期更別村総合計画実施計画に搭載し、社会経済状況等の変化や村財政状況を考慮しながら推進することとします。

3 ブランド化の基本的な考え方

地域ブランドとは、経済産業省によると「地域発の商品・サービスのブランド化と地域イメージのブランド化を結びつけ、好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化を図ること」と定義されています。

新たな観光の潮流は、知名度が低く広告・宣伝に割く余裕のない地域であっても、インターネットを活用した集客策の普及により、ユニークな観光資源の紹介が可能となり、さらに運営者に加え閲覧者も頻繁に参加する即時性・双方性のあるSNS、Instagram等の普及によって、近隣地域や関連施設へリンクする拡張性、多言語対応や決済機能の提

供といった利便性など、従来の宣伝媒体にはない機能が重要視されています。

利用者目線の情報（口コミ）がもたらす宣伝効果、周遊促進による経済効果の波及が期待できる地元の強みを活かした「見どころ」や「見頃」を反映させたツアーを企画し、周遊の予定がなかった観光客に対して、宿泊先から斡旋することにより、滞在期間の観光消費の拡大が期待できます。

観光資源が少ない本村において、本村の強みである一戸あたりの農業耕地面積、トラクターの所有台数、食料自給率が日本最大規模の大規模農業とアウトドア観光を結び付けた新たな観光コンテンツの創出により地域独自のブランド化を図ることができます。

本計画では、点として捉えていた地域の観光アイテムを面につなげるための環境を整備するとともに、農業との産業連携により地域全体をブランディングすることで観光分野での地域特性の強化を図ります。

また、エコツーリズム等が様々に発信されている十勝観光の現状において、広域連携や民間企業等（観光庁登録DMOであるデスティネーション十勝、スノーピーク）との官民連携による相乗効果も期待できることから、十勝を訪れる人に対して様々な観光情報の発信を行う拠点として機能を強化することで更別村を訪れる動機づけを行い、食や体験を提供するだけでなく根幹となるリピーターの増加が図られます。

本計画の実施によって、地域資源のブランディングと新たな観光資源の創出、民間企業等との連携による外からの意見を取り入れた機能の強化を図り、地域全体のブランド化を目指します。

第2章 更別村の現状と課題

1 更別村の概況

更別村は北海道、十勝南部にある村で、十勝の中核都市である帯広市から南へ35kmの地点に位置し、東は幕別町、西は中札内村、南は大樹町、北は帯広市とそれぞれ接しています。帯広空港から南へ車で10分と道外からのアクセスも良好であるほか、平成25年には高規格幹線道路帯広・広尾自動車道中札内IC～更別IC間が開通し交通の利便性が向上、農村公園大型遊具などのスポットに多くの観光客が訪れています。

面積は176.90平方km、東西に25.3km、南北に14.7kmと東西にやや長めの形状で、一部起伏があるものの、多くの土地は平坦であり、総面積の70%が耕地となっています。

気候は、夏冬、昼夜の寒暖の差が大きく、日照時間も比較的長い地域で、特に冬は晴天の日が多いのが特徴です。寒暖差の大きさは、農業に最適であり、広大な土地を生かした大規模機械化農業は、一戸当たりの面積、トラクター所有台数ともに日本最大規模を誇ります。



2 更別村地域の現状と課題

(1) 観光入込状況

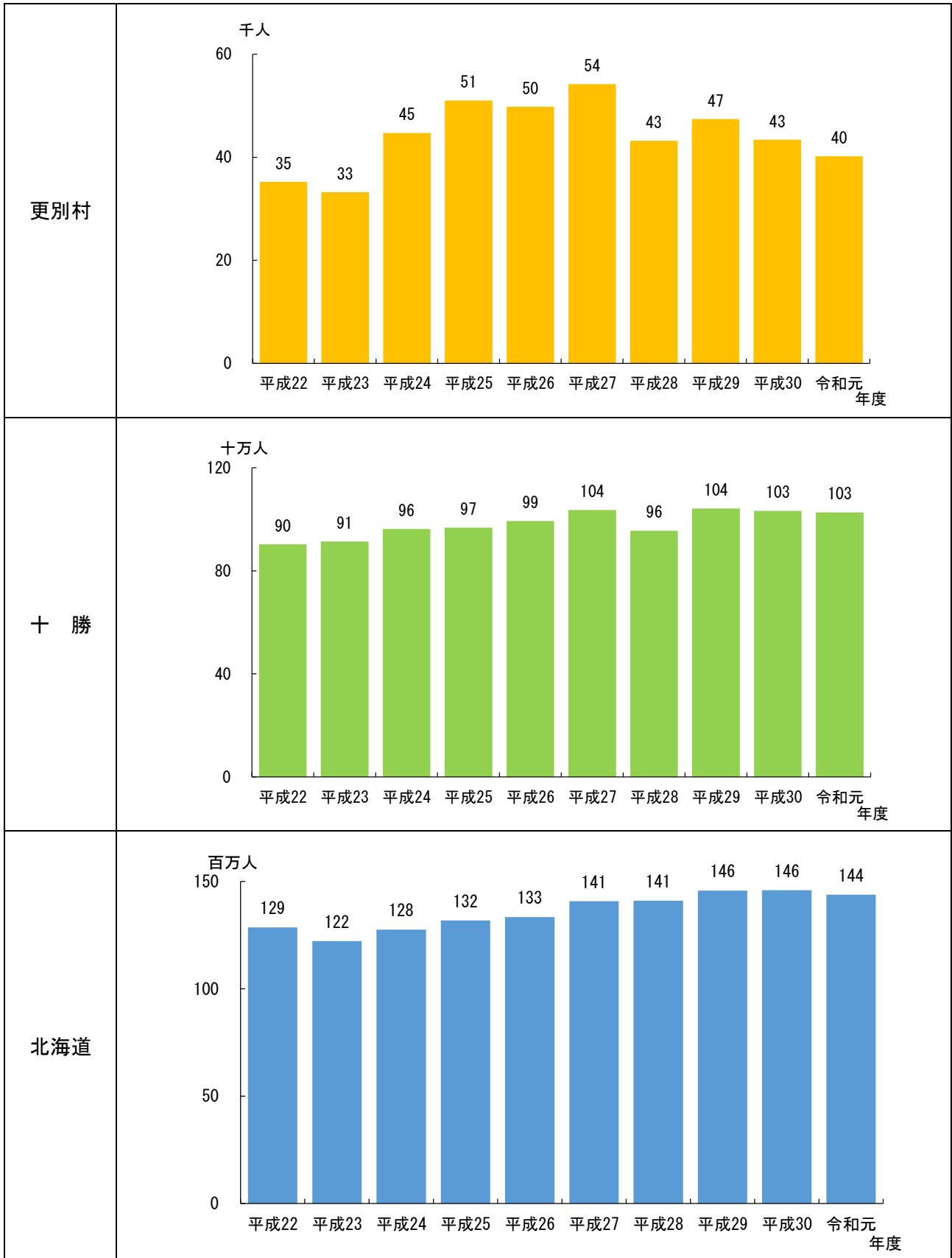
① 観光入込客数

更別村の観光入込客数は、平成22年度から平成27年度までは増加傾向にあり、平成27年度は54千人でしたが、その後減少しており、令和元年度には40千人となっています。

十勝は平成29年度以降、北海道は平成30年度以降、減少しています。

なお、観光入込客数の調査地点は、十勝スピードウェイ、さらべつカントリーパーク、どんぐり公園プラムカントリーの3か所となっています。

観光入込客数の推移



資料：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」（以降同様）

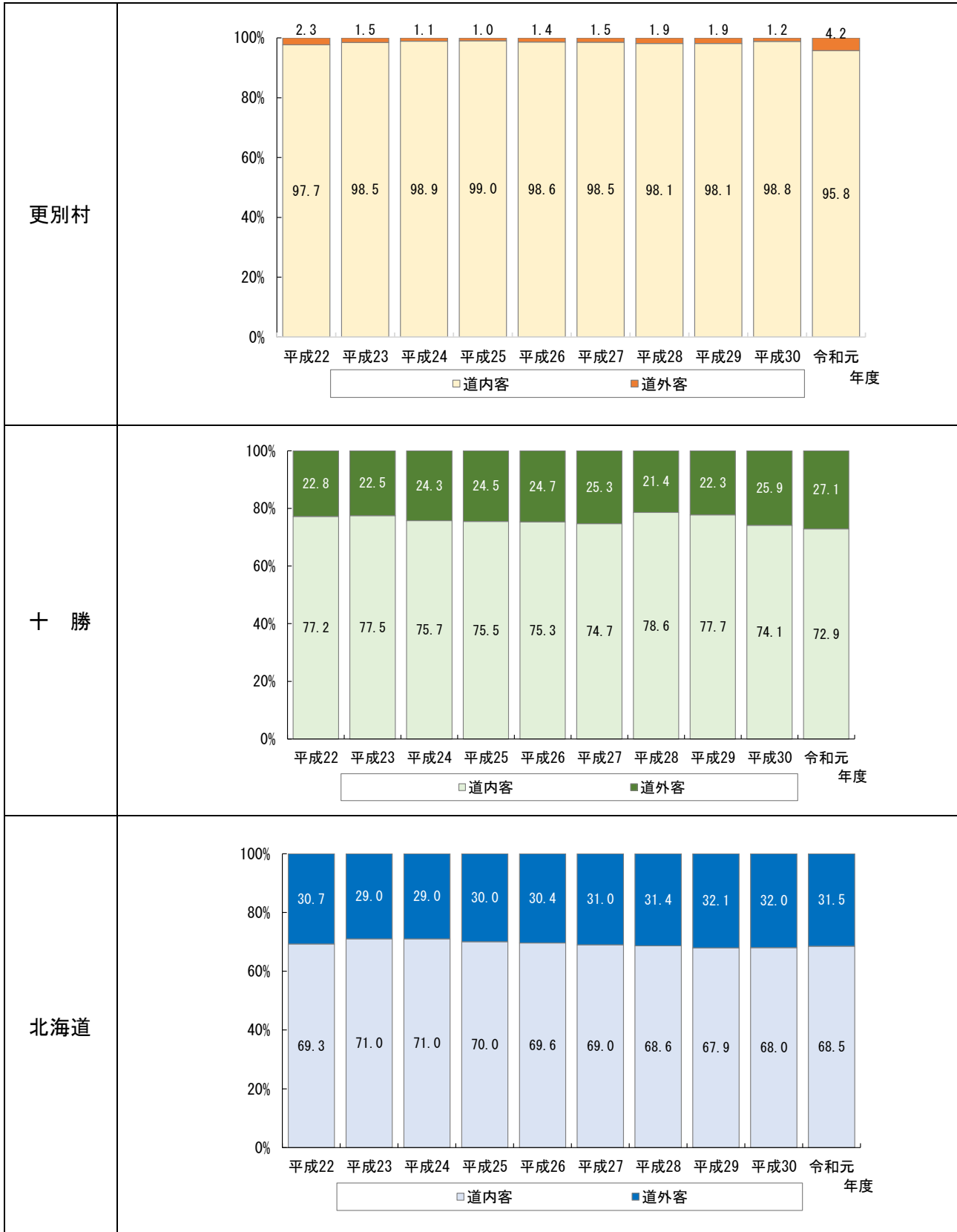
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.htm>

② 道内外客別構成比

道内外客別構成比は、更別村は9割以上を道内客が占めており、道外客の比率は非常に低く、令和元年度は道内客が95.8%、道外客が4.2%です。

一方、十勝は2割程度、北海道は3割程度が道外客となっています。

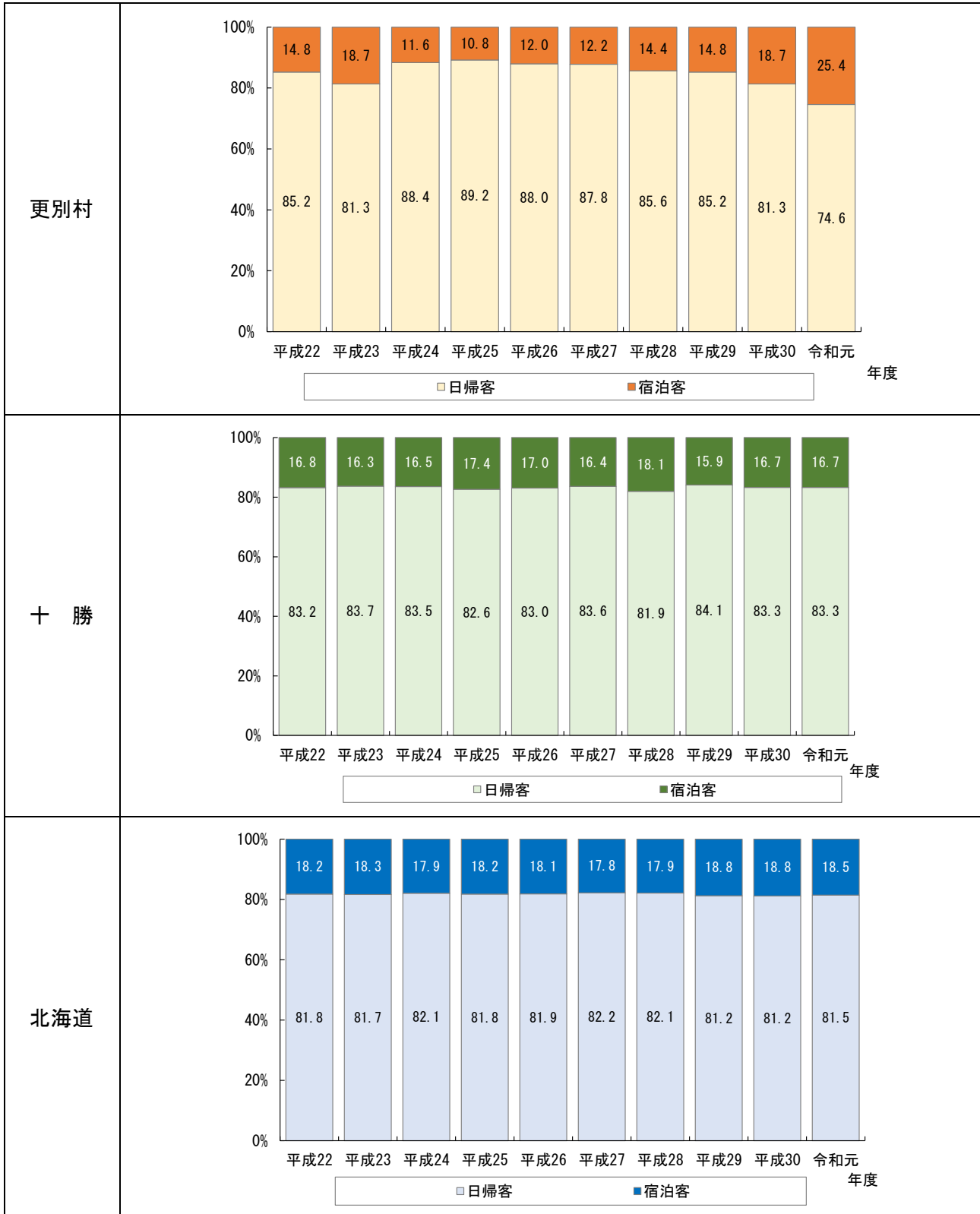
道内・道外客別構成比



③ 日帰・宿泊別客構成比

日帰・宿泊別客構成比は、8割強が日帰客となっていました。平成29年度まではほぼ横ばいでしたが、平成30年度以降は増加し令和元年度には日帰客が74.6%、宿泊客が25.4%となっています。

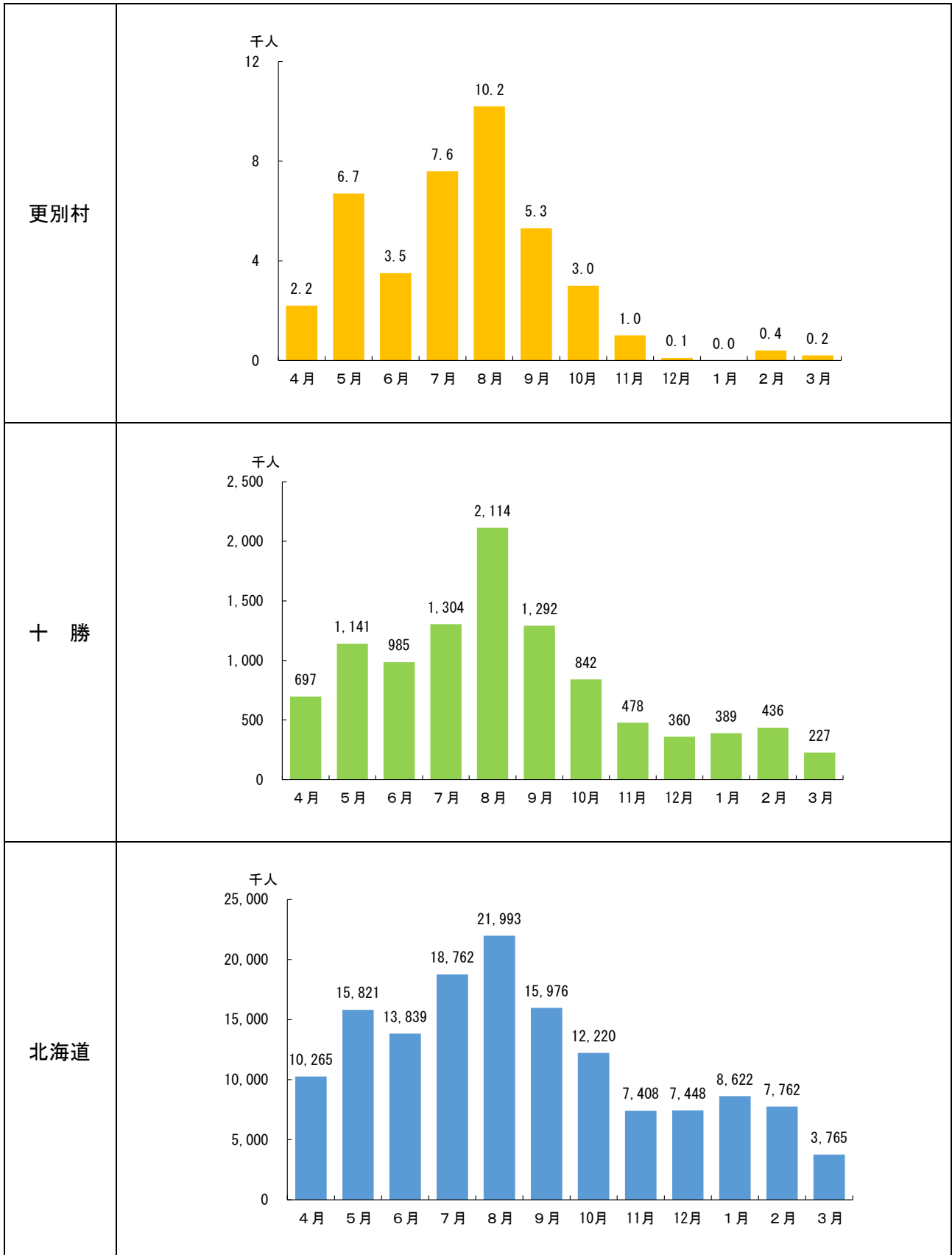
日帰・宿泊客別構成比



④ 月別観光入込客数（令和元年度）

月別観光入込客数は、更別村は7月～8月の夏期の入込が特に多く、次いで5月が多いです。同様に、十勝、北海道においても7月～8月の夏期の入込が特に多いです。

月別観光入込客数（令和元年度）

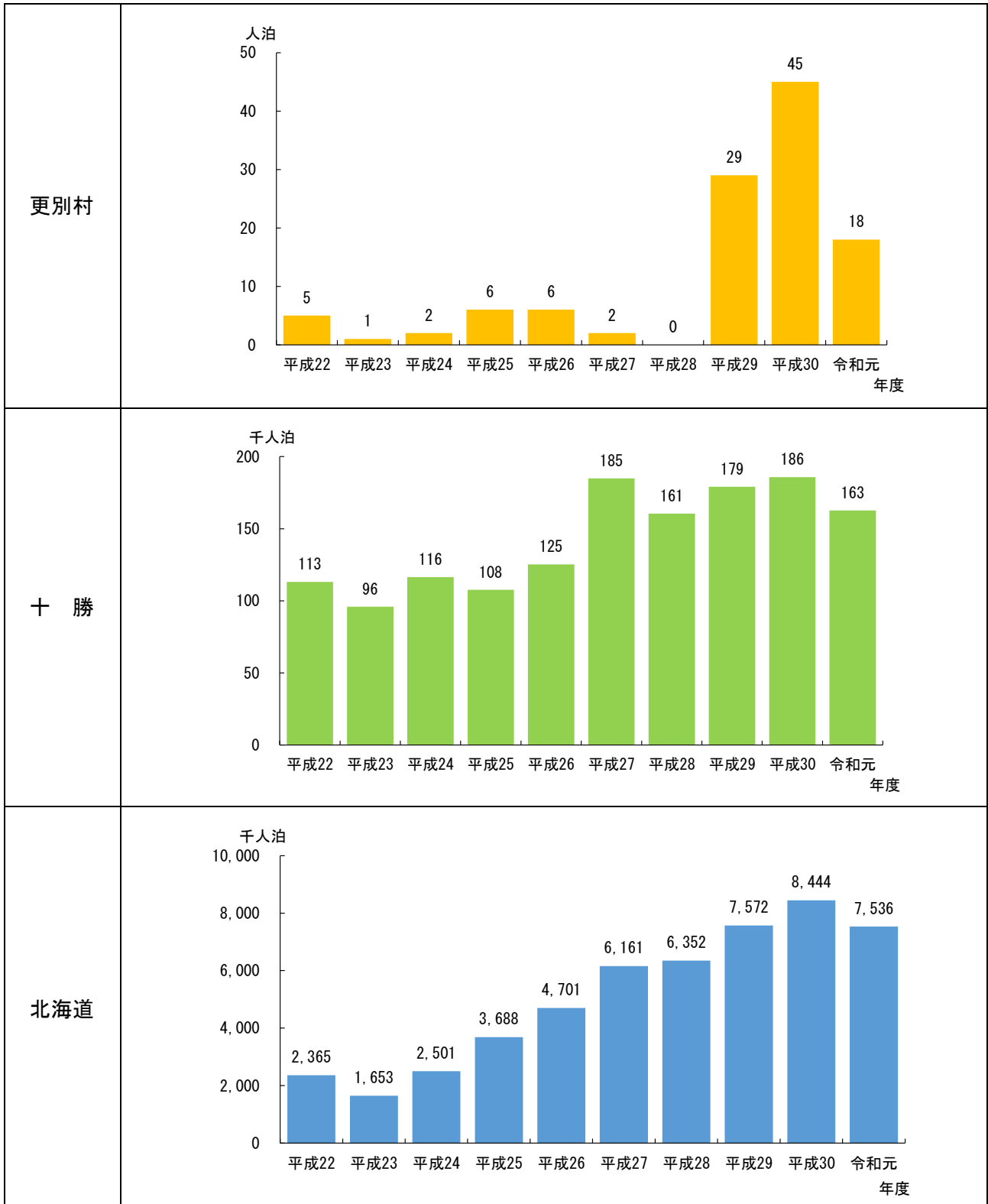


⑤ 訪日外国人宿泊客延数

訪日外国人宿泊客延数は、十勝、北海道においては、平成30年度までは増加傾向がみられましたが、令和元年度は減少しています。

更別村にはあまり外国人宿泊客はきておらず、平成29年度29人泊、平成30年度は45人泊、令和元年度は18人泊にとどまっています。

国別訪日外国人宿泊客延数

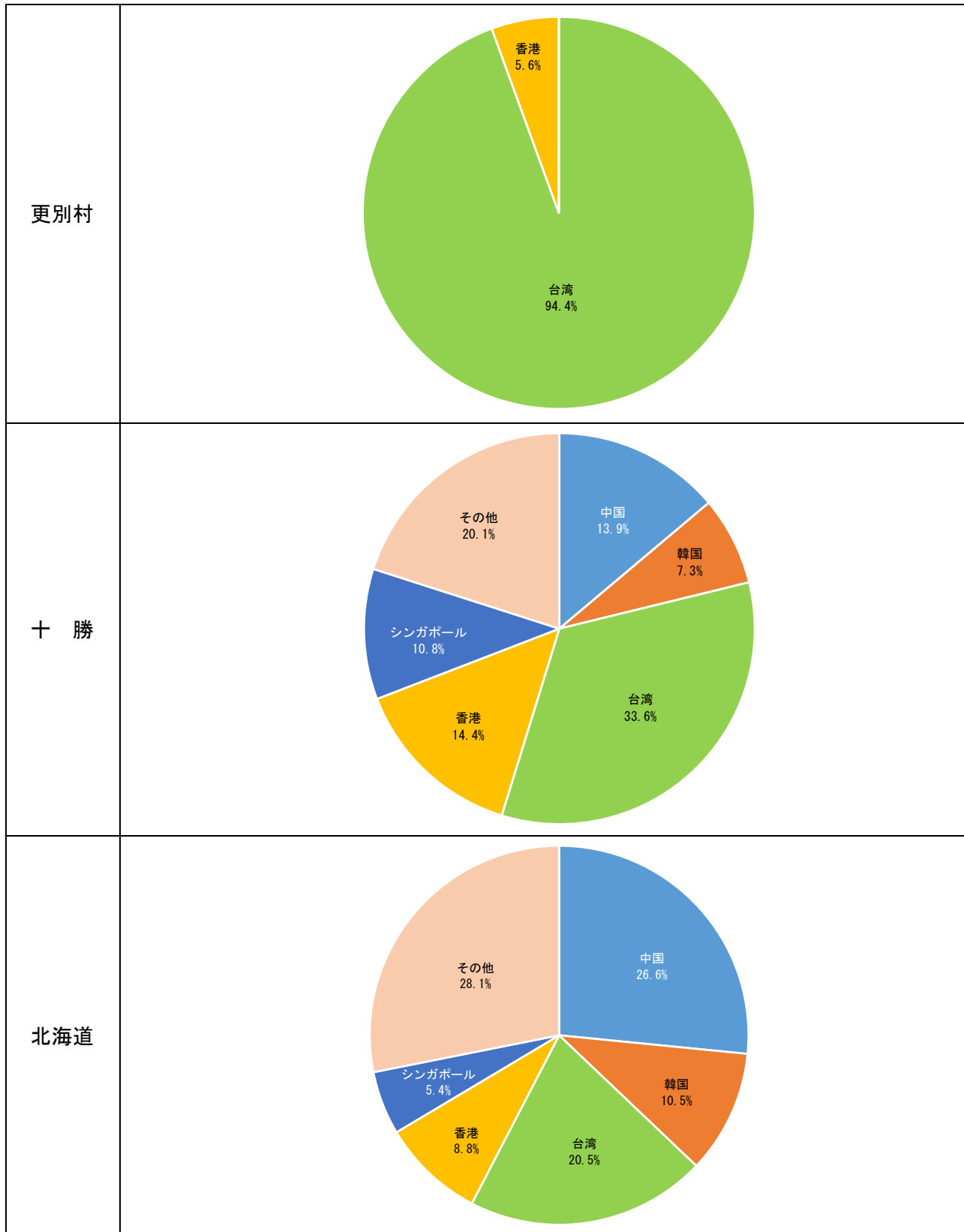


⑥ 訪日外国人宿泊客延数の国別構成比（令和元年度）

更別村の令和元年度の宿泊客延数は18人泊でしたが、参考までに、訪日外国人宿泊客延数の国別構成比をみていくと、「台湾」が最も多くなっています。

なお、十勝は「台湾」、北海道は「中国」が最も多くなっています。

訪日外国人宿泊客延数の国別構成比（令和元年度）



⑦ 更別村内の主要観光関連施設への観光入込客数

更別村には、主な観光施設として、「道の駅さらべつ」、「さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）」、「十勝スピードウェイ（サーキット場）」、「どんぐり公園（プラムカントリーパークゴルフ場）」があります。

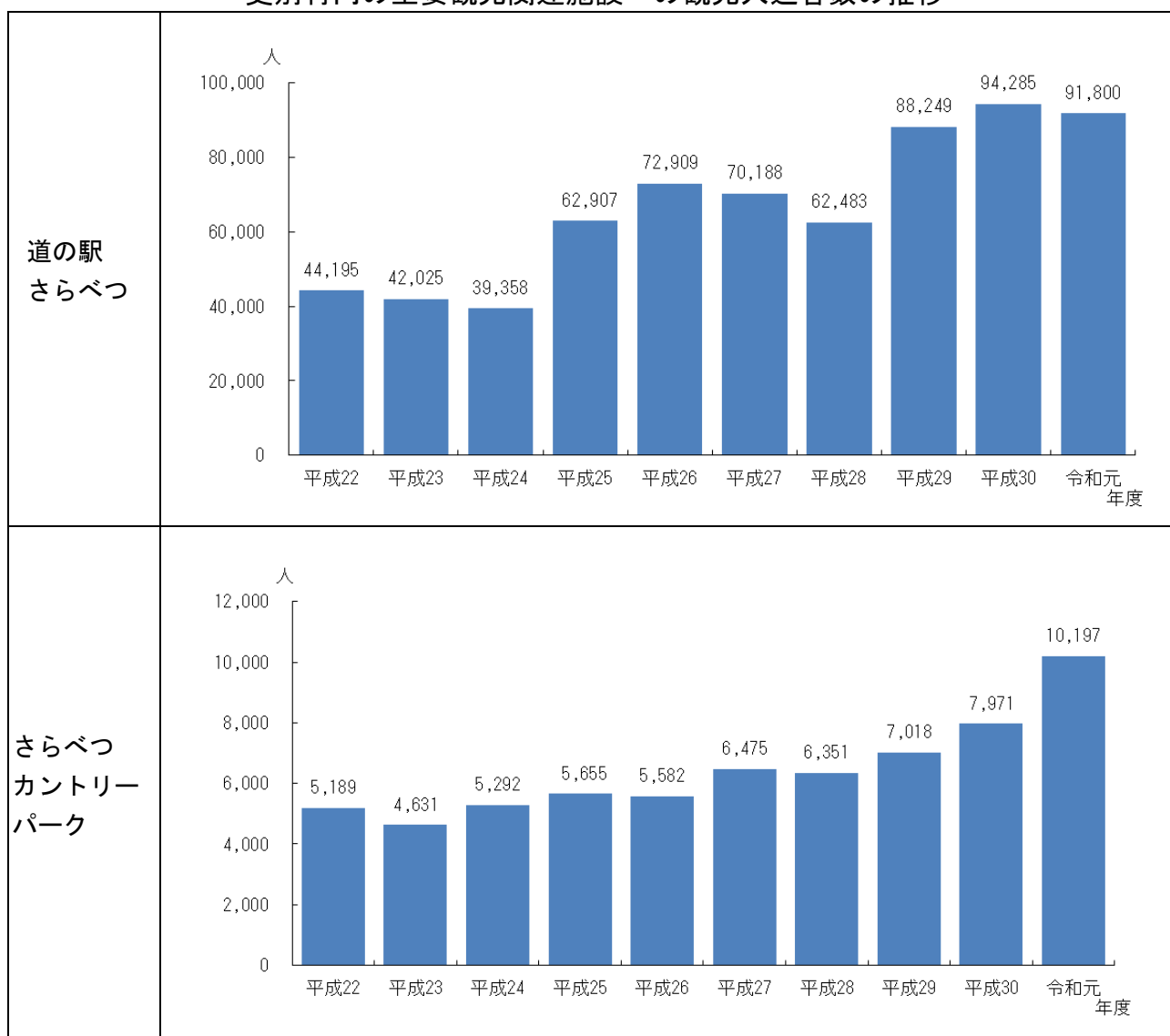
「道の駅さらべつ」の入込客数は、直近では9万人前後で推移しており、令和元年度は91,800人となっています。

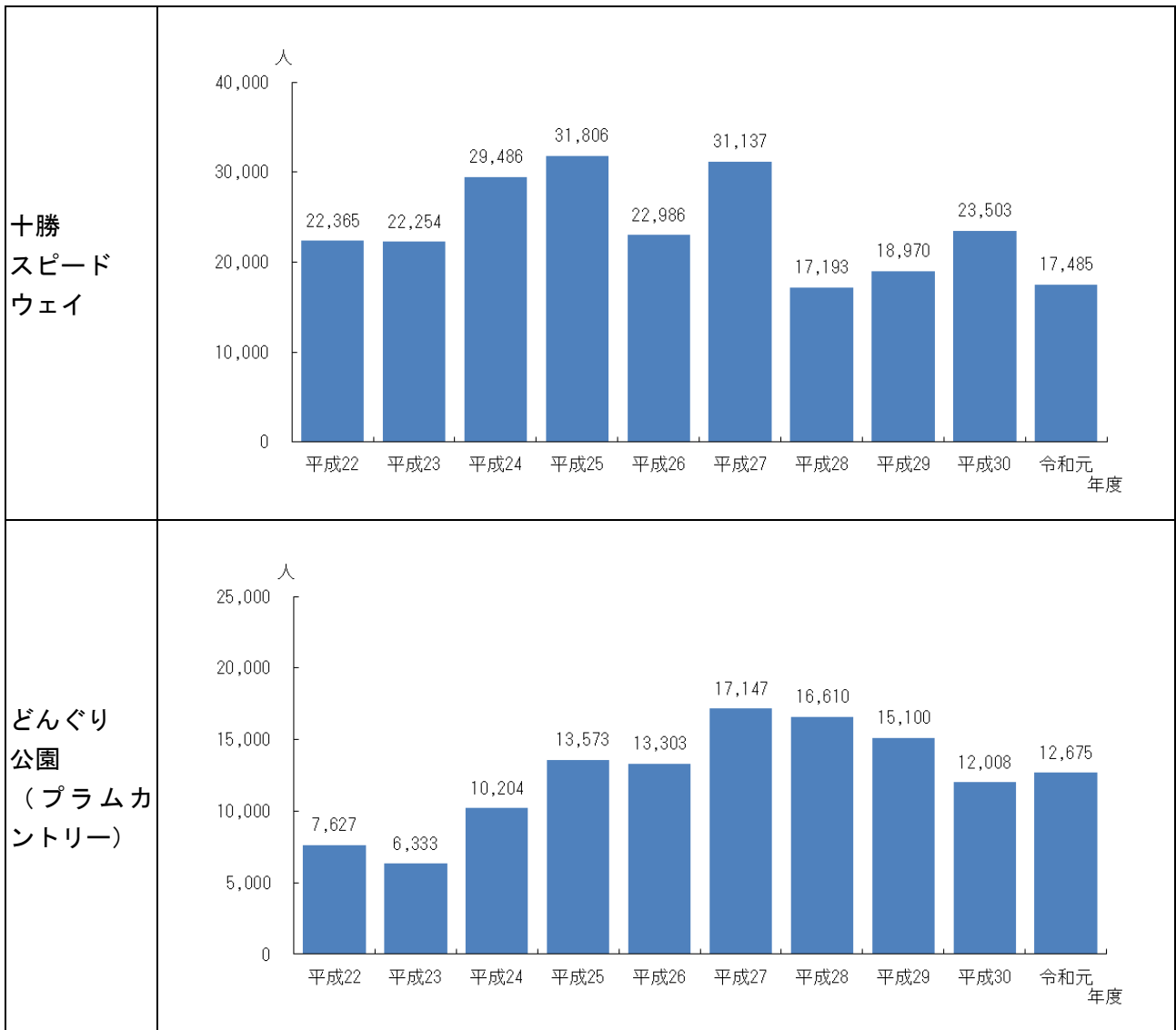
「さらべつカントリーパーク」の入込客数は、増加傾向にあり、令和元年度には1万人を超えています。

「十勝スピードウェイ（サーキット場）」の入込客数は、おおむね2万人前後で推移しており、令和元年度は17,485人となっています。

「どんぐり公園（プラムカントリー）」の入込客数の推移は、平成27年度を境に減少傾向となり、令和元年度は12,675人となっています。

更別村内の主要観光関連施設への観光入込客数の推移





資料：更別村資料

<参考1：月別観光入込客数（令和元年度）>

「道の駅さらべつ」の月別入込客数は、8月が最も多く 13,392 人、次いで5月が 12,509 人、9月が 10,745 人となっています。

「さらべつカントリーパーク」の月別入込客数は、8月が最も多く 3,885 人で、他の月と比較しても突出して多いです。

「十勝スピードウェイ」の月別入込客数は、7月が最も多く 4,225 人、次いで8月が 4,186 人となっています。

「どんぐり公園（プラムカントリー）」の月別入込客数は、4月～10月のオープン期間中において、5月が最も多く 3,251 人、次いで8月が 2,158 人となっています（11月～3月はクローズド期間）。

(参考) 更別村内の主要観光関連施設への月別観光入込客数 (令和元年度)

<p>道の駅 さらべつ</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>入込客数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>8,424</td></tr> <tr><td>5月</td><td>12,509</td></tr> <tr><td>6月</td><td>9,138</td></tr> <tr><td>7月</td><td>9,813</td></tr> <tr><td>8月</td><td>13,392</td></tr> <tr><td>9月</td><td>10,745</td></tr> <tr><td>10月</td><td>8,868</td></tr> <tr><td>11月</td><td>5,691</td></tr> <tr><td>12月</td><td>3,348</td></tr> <tr><td>1月</td><td>2,900</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2,931</td></tr> <tr><td>3月</td><td>4,041</td></tr> </tbody> </table>	月	入込客数 (人)	4月	8,424	5月	12,509	6月	9,138	7月	9,813	8月	13,392	9月	10,745	10月	8,868	11月	5,691	12月	3,348	1月	2,900	2月	2,931	3月	4,041
月	入込客数 (人)																										
4月	8,424																										
5月	12,509																										
6月	9,138																										
7月	9,813																										
8月	13,392																										
9月	10,745																										
10月	8,868																										
11月	5,691																										
12月	3,348																										
1月	2,900																										
2月	2,931																										
3月	4,041																										
<p>さらべつ カントリー パーク</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>入込客数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>884</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1,313</td></tr> <tr><td>6月</td><td>471</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,456</td></tr> <tr><td>8月</td><td>3,885</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1,143</td></tr> <tr><td>10月</td><td>413</td></tr> <tr><td>11月</td><td>221</td></tr> <tr><td>12月</td><td>79</td></tr> <tr><td>1月</td><td>20</td></tr> <tr><td>2月</td><td>139</td></tr> <tr><td>3月</td><td>173</td></tr> </tbody> </table>	月	入込客数 (人)	4月	884	5月	1,313	6月	471	7月	1,456	8月	3,885	9月	1,143	10月	413	11月	221	12月	79	1月	20	2月	139	3月	173
月	入込客数 (人)																										
4月	884																										
5月	1,313																										
6月	471																										
7月	1,456																										
8月	3,885																										
9月	1,143																										
10月	413																										
11月	221																										
12月	79																										
1月	20																										
2月	139																										
3月	173																										
<p>十勝 スピード ウェイ</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>入込客数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>458</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2,179</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1,342</td></tr> <tr><td>7月</td><td>4,225</td></tr> <tr><td>8月</td><td>4,186</td></tr> <tr><td>9月</td><td>2,472</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1,494</td></tr> <tr><td>11月</td><td>803</td></tr> <tr><td>12月</td><td>0</td></tr> <tr><td>1月</td><td>22</td></tr> <tr><td>2月</td><td>304</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	月	入込客数 (人)	4月	458	5月	2,179	6月	1,342	7月	4,225	8月	4,186	9月	2,472	10月	1,494	11月	803	12月	0	1月	22	2月	304	3月	0
月	入込客数 (人)																										
4月	458																										
5月	2,179																										
6月	1,342																										
7月	4,225																										
8月	4,186																										
9月	2,472																										
10月	1,494																										
11月	803																										
12月	0																										
1月	22																										
2月	304																										
3月	0																										
<p>どんぐり 公園 (プラムカ ントリー)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>入込客数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>874</td></tr> <tr><td>5月</td><td>3,251</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1,711</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,879</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2,158</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1,711</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1,091</td></tr> <tr><td>11月</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>0</td></tr> <tr><td>1月</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>注：11月～3月はクローズド期間</p>	月	入込客数 (人)	4月	874	5月	3,251	6月	1,711	7月	1,879	8月	2,158	9月	1,711	10月	1,091	11月	0	12月	0	1月	0	2月	0	3月	0
月	入込客数 (人)																										
4月	874																										
5月	3,251																										
6月	1,711																										
7月	1,879																										
8月	2,158																										
9月	1,711																										
10月	1,091																										
11月	0																										
12月	0																										
1月	0																										
2月	0																										
3月	0																										

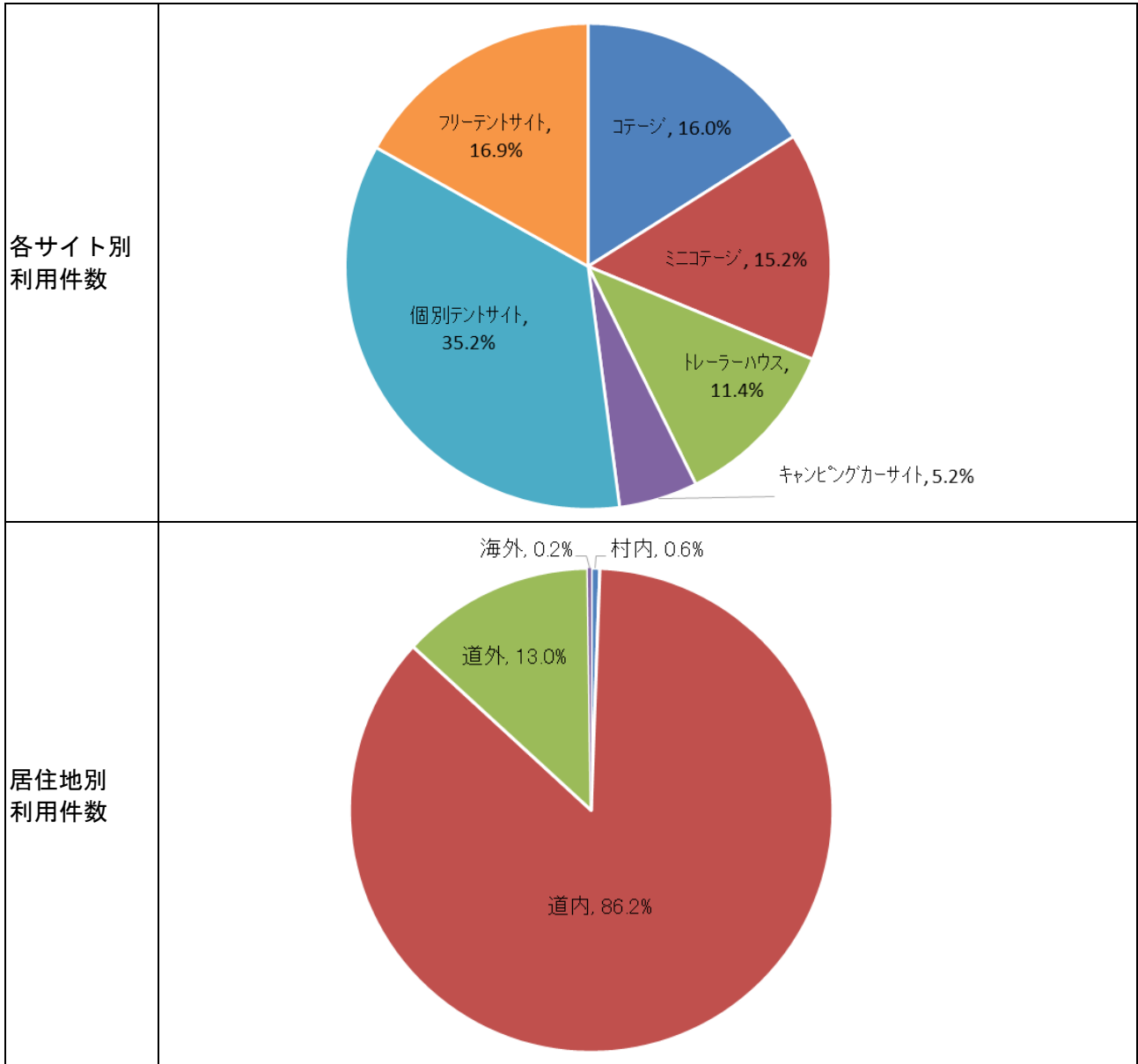
資料：更別村資料

＜参考2：さらべつカントリーパークの利用状況（令和元年度）＞

「さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）」の各サイト別利用件数をみていくと、個別テントサイトが最も多く全体の35.2%、次いでフリーテントサイトが16.9%を占めています。

次に、利用客の居住地別利用件数をみていくと、道内からの利用件数が最も多く全体の86.2%で、道外からの利用は13.0%、海外からの利用は0.2%、村内からの利用は0.6%となっています。

（参考）各サイト別、居住地別利用件数（利用件数合計：2,769件）（令和元年度）



資料：更別村資料

(2) 更別村の主な観光施設等

① 観光施設

更別村の主な観光施設は、「さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）」、道の駅さらべつ観光と物産の館ピポパ」「農村公園大型遊具広場」等があります。

更別村の主な観光施設

名 称	概 要
さらべつ カントリーパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・30haの敷地に芝生、トレーラーハウスにヨーロッパ風のコテージ、テントサイト等がある。 ・センターハウスにはフロント、団らん室、売店があり、パーク内に水遊びのできる水路や遊具、パークゴルフ場等を完備。 ・施設は一部を除いて通年営業。予約は6ヶ月前から受け付けている。 ・周辺には道の駅さらべつ、十勝スピードウェイがあり、ファミリーパークさらべつでフィッシングも楽しめる。冬は霧氷の撮影拠点としても最適。 ・さらべつ産業振興公社が指定管理者。 
道の駅さらべつ 観光と物産の館ピポパ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産館と、散策路や休憩広場などの駐車公園からなる施設。 ・更別村をはじめ、南十勝に関する様々な情報発信の拠点。 ・北海道の「北の道しるべ」事業の認定を受け、快適な休憩と質の高いサービス提供、物産・観光をPRしている。 ・さらべつ産業振興公社が指定管理者。 
農村公園大型遊具広場	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝管内でも屈指の規模を誇る大型遊具を備えた遊びの広場。 ・広場の中央には更別村のキャラクターどんちゃんの帽子をかぶったシンボルタワー、ローラースライダー、バナナスライダー等、5種類の滑り台を含む30種類以上のアイテムの他、大人の健康増進広場として7種類の健康遊具を備えている。 ・公園周辺には更別市街の飲食店がある。 
どんぐり公園	<ul style="list-style-type: none"> ・国道236号線を更別市街から広尾方面へ2km。 ・誰でも気軽に楽しめるレジャーゾーン。園内はパークゴルフ場のプラムカントリー、休憩施設のプラムハウス、アスレチックコース、すももの里などで構成されている。 ・さらべつ産業振興公社が指定管理者。 
十勝スピードウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の自然が持つ魅力を最大限にいかしたF1レースも可能なFIA公認サーキット。 ・1万人収容のメインスタンド、ハイテク機能を備えたコントロールタワーなどを有し、全国有数のモータースポーツのメッカとして、「北海道クラブマンカップ」や「全日本ママチャリ耐久レース」など、一年中多彩なイベントが開催されている。 ・民間企業による運営。 
アクティビティ センター・アンドア	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地にあるサイクルツーリストの拠点施設。 ・1階は案内所とショップがあり、ロードバイクやクロスバイクなどの本格的な自転車のレンタルが可能。 ・2階には簡易宿泊所があり、キッチンやシャワー、寝室を完備。 ・民間企業による運営。 
ファミリーパーク さらべつ	<ul style="list-style-type: none"> ・一年中つりが楽しめる釣り堀。釣った魚は無料で持ち帰りできる。 ・伏流水を利用してオショロコマ、ヤマベ、ニジマス、銀ザケなどの養殖も行なっている。 ・焼肉ハウスを併設し、牛肉やジンギスカンなど団体60名まで利用可能。 ・民間企業による運営。 
福祉の里温泉	<ul style="list-style-type: none"> ・主浴槽、パイブラ、寝湯、サウナ、露天風呂を備えた温泉。泉質はナトリウム塩化物泉（低張性中性冷鉱泉）。 ・利用料は、更別村に住んでいる65歳以上の方及び身体障がい者は1回100円、その他、大人（高校生以上）は1回400円で利用できる。 ・村の運営。 

資料：更別村HP <https://www.sarabetsu.jp/sightseeing/shisetsu/>

② 特産品

主な特産品には、「農作物（じゃがいも、豆類、グリーンアスパラ、キャベツ等）」、「つぶつぶでんぷん」、「イオンたまご」「さらべつむらのなまうどん」等があります。

更別村の主な特産品




特産品名	概 要	
農作物	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいも、豆類、グリーンアスパラ、キャベツなど。 ・広くて豊かな大地で収穫された良質で安全な農作物 	
つぶつぶでんぷん	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの自然沈殿方法と低温長時間乾燥によって作られた大粒子の「でんぷん」（かたくり粉）。 ・「つぶつぶでんぷん」は産業遺産（産業考古学会）に認定された昭和 22 年創業の工場で作られている。 	
更別農高カレー	<ul style="list-style-type: none"> ・道産牛肉と更別産スイートコーンと玉ねぎのうま味が詰まった「オニオンコンソメスープ」に村特産の「すももジャム」を加えたビーフカレー。 ・更別農業高校生が地元企業とコラボし、試行錯誤しながら開発。 	
イオンたまご	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン水で育てられたニワトリの卵。 ・「どんぐり村のたまご屋さん」の愛称で親しまれ、黄身に張りがあり、臭みがないのが特徴。道の駅さらべつや村内スーパー、村内にある自動販売機で販売。 	
さらべつむらのなまうどん（生麺） どんちゃんうどん（乾麺）	<ul style="list-style-type: none"> ・更別村の農家が育てた更別産小麦のきたほなみを 100% 使用したうどん。 ・村内での販売、村内の飲食店でも味わうことができる。 	
すもものむヨーグルト	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の「すももの里」で採れたすももの実を使った飲むヨーグルト。 ・すももの酸味をいかした甘酸っぱい味わいが特徴です。道の駅さらべつにて販売。 	
生しいたけ	<ul style="list-style-type: none"> ・菌床しいたけの香りとともに、肉厚でジューシーな味わいが特徴。 ・リピーターも多く、村内では主に道の駅さらべつで販売。 ・ファミリーパークさらべつにて生産。 	
十勝スイートコーン	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝の広大な畑で採れたスイートコーン。 ・保存に便利な缶詰タイプとなっている。 	
すもものチーズケーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり公園すももの里の果実から作ったジャムを挟んだチーズケーキ。 ・さらべつチーズ工房のゴーダチーズ「酪佳（らくか）」を使用。 ・お菓子のニシヤマにて販売。 	
どんぐりのむらポテトチップス	<ul style="list-style-type: none"> ・更別産のじゃがいもを原料にしたポテトチップス。 ・全国各地のファンから注文がある。 ・道の駅さらべつのロングセラー商品。 	
オショロコマ・ヤマバ・ニジマス・銀鮭	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーパークさらべつでは、オショロコマ、ヤマバ、ニジマス、銀鮭等の内水面養殖を行っている。 ・北海道のみならず東京の魚市場にも出荷。 	
さらべつピュアドライすもも	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり公園すももの里の果実から作った無添加ドライフルーツ。 ・パン舎にて販売 	
酪佳	<ul style="list-style-type: none"> ・自家培養した乳酸菌を使用し、長時間熟成させたこだわりのゴーダチーズ。 ・国際線ファーストクラスの機内食として採用されており、国外からも評価が高い一品。 	

資料：更別村 HP <https://www.sarabetsu.jp/sightseeing/tokusanhin/>

③ 宿泊施設

村内の宿泊施設は、3箇所（アクティビティセンター・アンドア、さらべつカントリーパーク（オートキャンプ場）、hotel sarapark（地域創造複合施設））となっています。

更別村の宿泊施設

名 称	概 要
アクティビティセンター・アンドア	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地にあるサイクルツーリストの拠点施設。 ・1階は案内所とショップがあり、ロードバイクやクロスバイク等の自転車のレンタルが可能。 ・2階は簡易宿泊所で、キッチンやシャワー、寝室を完備。 
さらべつカントリーパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・オートキャンプ場（通年営業（キャンプサイトは夏期間のみ）） ・センターハウス1棟 ・コミュニティハウス1棟 ・サニタリー2棟 ・キャンピングカー専用サイト5サイト ・個別テントサイト58サイト ・フリーテントサイト無制限 ・コテージ（6～8人用）5棟 ・ミニコテージ（4～5人用）5棟 ・トレーラーハウス（4～5人用）5台 
hotel sarapark ※R3.4オープン予定	<ul style="list-style-type: none"> ・更別村地域創造複合施設内にある宿泊施設。 ・全8部屋、最大24名まで宿泊可能。 ・施設内に食堂有（kitchen sarapark）。 ・株式会社オカモトが指定管理者 

資料：更別村 HP <https://www.sarabetsu.jp/sightseeing/shukuhaku/>

④ 交通アクセス

交通アクセスは、帯広からは車で約40分、帯広空港からは車で約10分、札幌市からは車で約240分の距離にあります。



資料：更別村 HP https://www.sarabetsu.jp/sightseeing/access_map/

(3) 更別村の強み・弱み

更別村の強みと弱みについて整理すると、更別村には、豊かな自然空間、農村景観等の良さ、帯広空港からのアクセスの良さといった強みがあります。

観光資源の掘り起こし・磨き上げだけでなく、十勝地域での地域連携、農業との産業連携の可能性を図り、その相乗効果により地域観光の活性化を図っていく必要があります。

更別村の強み・弱み

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然・景観の良さ ・ 大規模農業 ・ 帯広空港からのアクセスの良さ ・ さらべつカントリーパーク、どんぐり公園（プラムカントリーパークゴルフ場）、道の駅さらべつ、すももの里、ファミリーパークさらべつ、十勝スピードウェイ、福祉の里温泉等の観光資源等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度の低さ ・ 観光資源が自然・景観中心 ・ 宿泊施設の収容人数が少ない、古い施設が多い ・ 通過型観光、旅行者の滞在時間が短い ・ 二次交通不足 ・ 観光推進体制が脆弱（誘客活動、観光案内等） ・ 観光客数の季節的な偏在（冬期間が弱い）等
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験型観光の高まり ・ 外国人旅行者の増加 ・ 地方創生の動き ・ 地域ブランドへの関心 ・ SNS の普及（Facebook、Instagram 等）等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少社会の到来 ・ 他の観光地との競争激化 ・ 若年層の旅行離れ ・ 想定外の自然災害等

3 更別村市街地活性化実施計画

平成21年に策定した『更別村市街地活性化実施計画』は、平成22年から令和元年までの10年間を計画期間とし、第5期更別村総合計画との連携を図りつつ、地域住民・関係機関・行政が相互に密接な連携の中で、更別村の市街地と住民交流の活性化に向け、市街地における商店街を中心とした豊かで活力ある地域社会の実現に貢献できるよう、市街地活性化の基本計画として策定されました。

実施計画は、3つのプロジェクトにより構成されており、プロジェクト実行に際して、抽出された市街地活性化事業は「賑わい創出プロジェクト」が7事業、「健やか安心プロジェクト」が4事業、「街並み快適プロジェクト」が5事業、計16事業が計画されました。

事業の推進にあたっては、住民、行政、商工会などの各関係団体が連携し、各プロジェクトについて、ハード、ソフト両面から推進する必要があるものとされました。また、事業の実施については、住民の意見に基づいて、行政が各関係団体と調整を図りながら、全体的な共同体制によって実現していくこととしました。



資料：更別村「更別村市街地活性化実施計画（概要版）」（以降同様）

賑わい創出プロジェクト

市街地利用における利便性を向上し、賑わいを呼び込むしかけづくりと活動を継続することで、市街地の活性化を図る。

- ①交流拠点施設の整備
- ②市街地誘導看板の設置
- ③市街地マップの作成
- ④住民協働の推進
- ⑤協働店舗への支援
- ⑥開発庁舎跡地の利活用
- ⑦市街地公園のリニューアル

健やか安心プロジェクト

市街地における歩行者空間ならびに道路の整備などによって、安全安心な街並みの形成と健康増進に繋がるまちづくりを進める。

- ⑧市街地歩道の整備
- ⑨市街地道路の整備
- ⑩ウォーキングコース整備
- ⑪交通安全対策の推進

街並み快適プロジェクト

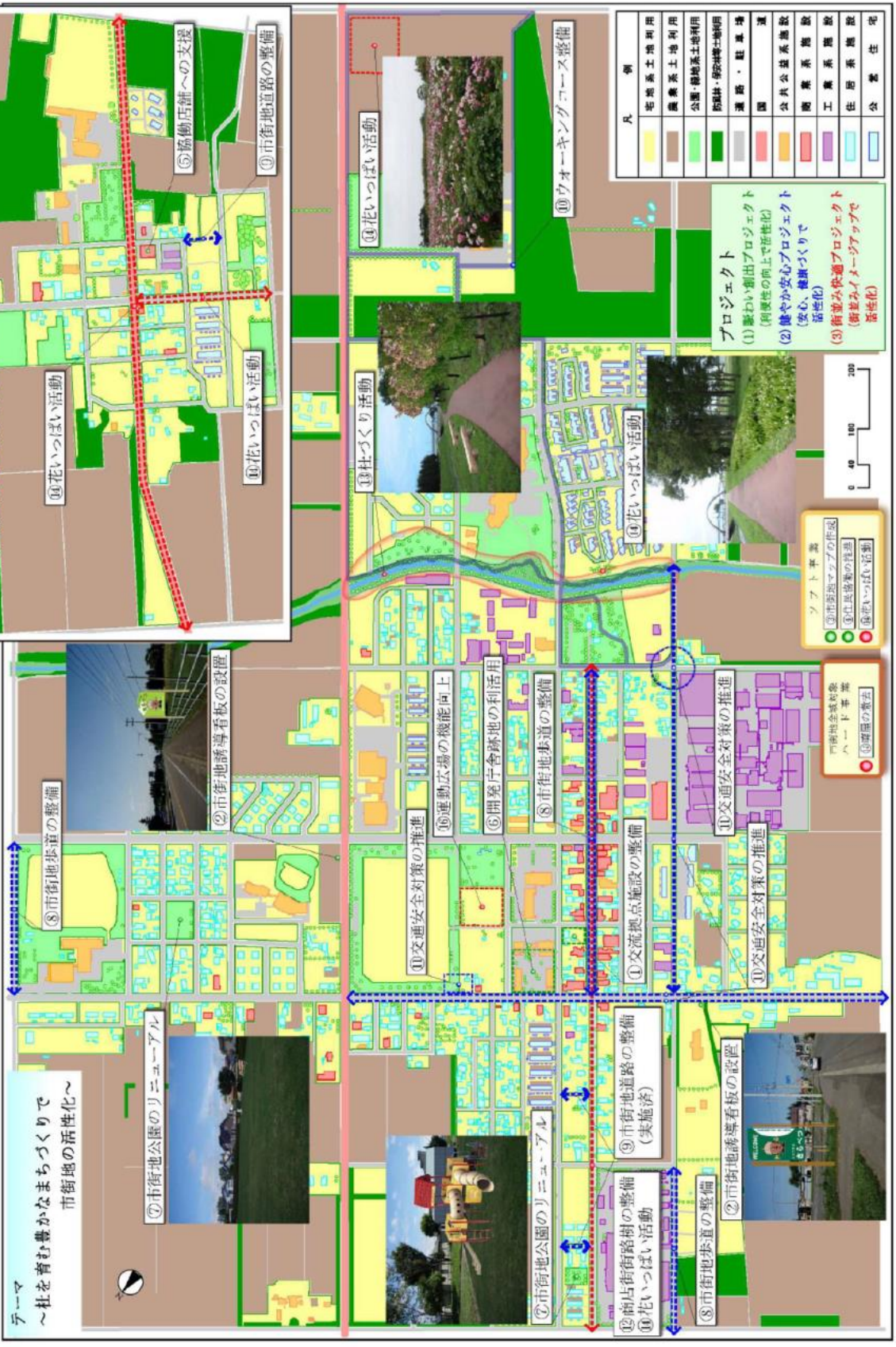
街並みのイメージアップで潤いのある空間を演出し、市街地の活性化を図る。

- ⑫商店街街路樹の整備
- ⑬杜づくり活動
- ⑭花いっぱい活動
- ⑮廃屋の撤去
- ⑯運動広場の機能向上



更別市街地と上更別市街地の整備予定箇所です。

更別市街地構想図



※写真はイメージであり、合成写真です。

(1) 評価

さらべつまるごとブランディング計画の策定にあたっては、市街地活性化実施計画の評価を行い、さらべつブランディング協議会での意見を踏まえ今後の事業の方向性を定めることとしています。

① 賑わい創出プロジェクトの評価

a. 交流拠点施設整備<実施期間：H24～H27 208,551千円>

ma・na・caの整備は完了しており、「平日にロビーで談笑している」など、市街地におけるくつろぎの場としての効果がみられるとの意見がある一方、「抽選会でしか利用されていないのではないか」との意見もあり、農村公園や地域創造複合施設と連携した人の流れをつくるよう案内標識の設置など利用促進対策を図る必要があるものとされた。

b. 市街地誘導看板の設置<実施期間 H23～H24：5,838千円>

国道、道道に市街地誘導看板の整備を行っている。今後は、各個別施設の誘導看板等について、親しみやすい施設名称への変更を検討したうえで統一感のある看板に整備する必要があるものとされた。また、「高規格道路から見える農協の倉庫に看板をつけてはどうか」との意見もあり、施設の壁面利用なども検討するものとされた。

c. 市街地マップの作成 <実施期間 H22：48千円>

商工会で実施済み。更新は定期的に行ったほうが良いとされ、観光パンフレットと同様に「高速インターチェンジや高速休憩所などに配置すべき」等の意見がありました。

d. 住民協働の推進 <実施期間 H22～R1：6,248千円>

協働事業の助成制度は、活用されやすくするよう、協働のまちづくり事業、協働パートナー事業に区分して実施されており、継続して推進していくこととされた。

e. 協働店舗への支援 <実施期間 H22～R1：12,096千円>

上更別市街地の唯一店舗であるポピーマートへの支援は継続が必要とされた。

f. 開発庁舎跡地の利活用<実施期間 H24～H30：214,264千円>

地域創造複合施設として整備され、人材育成事業の実施により村内外の来訪者の交流が図られている。引き続き集客機能を高める必要があり、「むらの駅」エリアとして位置付け、再整備の必要があるものとされた。

g. 市街地公園のリニューアル <実施期間 H24：18,091千円>

新栄町、緑町の公園整備は完了している。

② 健やか安心プロジェクトの評価

a. 市街地歩道の整備<実施期間 H22～H26：55,929千円>

更別・上更別市街の主要歩道は計画どおり整備されている。また、市街地本通り（道道）についても整備済みとなっている。今後は、総合計画に基づき推進することとされた。

b. 市街地道路の整備 <実施期間 H22~H26 : 25,789 千円>

新栄町通り、本町通り、東4条線、上更別東1条通りについて整備済みとなっている。今後は、総合計画に基づき推進することとされた。

c. ウォーキングコース整備<未実施>

「村内の銘木や写真スポット巡りなどのウォーキングコースを設定し、既存のイベントにあわせてウォーキングイベントを実施してみてはどうか」との意見があり、引き続き検討が必要とされた。

d. 交通安全対策の推進 <実施期間 H29 : 北海道が実施>

南2線東15号の道道と村道の交差点改良は完了している。引き続き、国道、道道の安全対策について要望が必要とされた。

③ 街並み快適プロジェクトの評価

a. 商店街街路樹の整備 <実施期間 H22~H23 : 658 千円>

植樹柵への植樹は完了している。今後の樹種について、「特色のあるものが良い」との意見がある一方で「落ち葉などの管理が大変」との意見がありました。

b. 杜づくり活動 <実施期間 H23~R1 : 1,659 千円>

サッチャルベツ川の親水公園周辺に桜とヤマモミジの並木整備をしたほか、スズランの植栽を実施しているが、食害や凍害により生育不良となっている。今後は、ウォーキングコース整備の検討と併せて対策することとされた。

c. 花いっぱい活動 <実施期間 H22~R1>

更別村環境美化推進協議会と村が共催で実施している。行政区や商店街での取り組みもあり、今後も継続して実施することとされた。

d. 廃屋の撤去 <未実施>

「持ち主の希望に左右されるため、撤去希望者への支援措置を検討すべき」との意見があり、引き続き検討の必要があるとされた。

e. 運動広場の機能向上 <実施期間 H23~H26 : 205,270 千円>

大型遊具と駐車場の整備は完了し、村内外から利用がある。今後は、利用者の滞在時間を長くするよう、バーベキューができる環境整備と用具の貸し出し、食材の販売場所などを整備し、「むらの駅」エリアとして地域創造複合施設や ma・na・ca と連動した取り組みが必要とされた。

第3章 ブランド確立に向けた 賑わい創出プロジェクト

市街地活性化実施計画の評価及びブランディング協議会で検討された内容を踏まえ、地域資源の磨き上げと有効活用を促進する事業展開により、地域ブランドの確立を目指します。

1 交流拠点エリアの再整備

市街地活性化実施計画で整備された ma・na・ca、地域創造複合施設、農村公園大型遊具を交流拠点エリアとして、人やモノが集まるステーション「むらの駅」となるよう重点的に磨き上げを行います。

(1) 地域創造複合施設周辺のリニューアル

①コンセプト

更別の人々が大切にしているモノやコトが集まる場所。
更別の人々が集い、ゲストが滞在する場所。
更別の人々とゲストが、体験を通じて交流する場所。
そして、更別村がもっと好きになる場所。

更別のモノ・コト・人、そしてゲストが集う「むらの駅」は、コロナ禍後の社会変化にも対応した、自然との共存、家族時間の過ごし方を提供する場所となります。

自然、人、農業
更別の人々が大切にしているモノやコトが、ゲストと結び付く。
交流と滞在の拠点をめざします。

<更別のモノ・コト・人が集いゲストと交流>

更別村の強みである農業や自然を体験しながらできる観光と交流の仕組みを整えます。
更別の特産品の販売、体験商品を提供する環境を整えます。
ゲストが最初に立ち寄る場所として、更別や十勝の観光情報を発信します。

<ゲストの長期滞在拠点>

家族で農業体験の合間にテレワークを行うなど、更別を訪れたゲストが長期滞在できるよう、多様な滞在スタイルに対応できる環境を整えます。

②計画エリア

地域創造複合施設及び隣接する駐車場エリアを再整備し、村外の家族連れからも多くの利用を得られている農村公園大型遊具や ma・na・ca と一体的な賑わいを創出できるエリアを構築します。



③施設の機能向上プラン

<地域創造センター>

- ・アウトドアギアの貸出し（「どこでもキャンプ」の基点）
- ・体験型サービス等の提供
- ・観光情報・アウトドア情報の発信

<地域交流センター>

- ・多様な滞在ニーズに応える長期滞在型宿泊施設
- ・テレワークやワーケーションを想定した客室の整備（高速通信環境整備）
- ・広域観光の拠点として長期滞在可能なファミリー個室の整備
- ・移住を目的にした長期滞在にも対応

<未来型物産館>

- ・特産品の直売所やレンタル店舗として大型遊具横広場へ移設

<大型遊具横広場>

- ・全天候対応可能なバーベキュースペースの整備
- ・地域イベントやアウトドア会議の会場など多様な活用

<周辺環境整備>

- ・地域創造複合施設外構整備
- ・勤労者会館の撤去

<看板設置>

- ・村外の人にもわかりやすいよう看板を設置 (ma・na・ca、地域創造複合施設)



2 アウトドア観光＋大規模農業による ブランド化

～全国でも類を見ない「アウトドア＋大規模農業」高付加価値観光地の可能性～

3か年に及ぶ調査事業やワークショップから、「更別」の知名度は高くないものの、観光客がイメージする「北海道」のイメージは、十勝や更別の風景であることが分かりました。つまり、更別村は「北海道らしさ」を持ちながらも、観光客がまだ発見できていない地として、高い可能性を秘めた地域といえます。確たるブランディング計画を地域内で共有し協力していくことで、これまでの観光地とは違う、高付加価値の観光サービスを提供する地域としてのポテンシャルを活かせる取り組みが必要です。

インフラ面では、とち帯広空港から更別村の中心部までは約12kmと、十勝地域の市町村の中で空港の距離が最短です。この交通アクセス上の利点をうまく活用し、全国でも類を見ない「アウトドア＋大規模農業型」高付加価値観光地づくりの第一歩を進めることが、本取り組みの目的です。

(1) どこでもキャンプ

<アウトドアギアの貸出し>

どんぐり公園、更別農村公園、ふるさと館（ふるさとプラザ）など、更別村には美しい芝生をたたえる施設が多数あることから、更別を訪れるゲストに手軽にアウトドアキャンプを楽しんでもらえるよう「どこでもキャンプ」と称するキャンプギアのレンタルサービスを展開します。

また、観光以外にも「テントやタープを張って、家族や仲間と集いたい」「アウトドア環境で会議を行い、新鮮なアイデアを生み出したい」など、コロナ禍における交流の変化にも対応した新しいアウトドアニーズへの対応が可能だと考えます。

農村公園にテント・タープを設営してアウトドア会議を実施した実証実験では、たくさんの方の新しいアイデアと、新しい交流が生まれました。ゲストへのキャンプギアの貸出しだけでなく、村内団体や住民にも、公園を再活用した新しいライフスタイルを提供できると考えます。



【事業内容】

- ・地域創造複合施設でレンタル受付
- ・希望するキャンプスペースへの配達や設営サポートサービスの提供
- ・農業体験、サイクリング、釣りなどのプログラム（オプションサービス）をあっせん

＜大規模農業とアウトドア＞

更別村の耕地面積は約 11,000 ヘクタール、農家 1 戸当たりの経営面積は 50 ヘクタールを超える日本でも有数の大規模農業を展開しています。広大なジャガイモ畑や牧草地など、北海道十勝ならではのロケーションが広がっています。

一方で、更別村に限らず、国内の農業地での野遊び・アウトドアは、作物収穫や酪農体験程度になっており、農地周辺でキャンプなど宿泊を伴うようなアウトドア体験が楽しめる場所は非常に少ない状況です。

そこで、村の特徴である大規模農業を全面的に打ち出した野遊びを展開することで、どの地域でも展開できていない「大規模農業＋アウトドア」という新たなブランド化を狙います。

風光明媚な環境だけでなく、広大な農地や大型トラクターのある車庫の中など、更別村ならではの魅力「大規模農業」を体感できるプログラムを展開。拠点施設で野遊びギアのレンタルサービスを提供し、手ぶらで来村しながらアウトドアを楽しめる環境を整えます。各プログラムは少人数型とし、客単価を上げた高付加価値型の商品を目指します。



【提供するプログラムの例】

- ・じゃがいもの花見＋農地キャンプ
- ・もぎたて！とうきびの収穫体験＋農地キャンプ
- ・クルージングトラクター（トラクターに乗って作業体験）
- ・星空観察会＋農地キャンプ
- ・畑で野点（本州の梅雨時期）
- ・納屋でパーティー（全天候対応）
- ・スノーモービルアクティビティ（バナナボート）＋雪上キャンプ

（２）十勝の野遊び観光のハブ化

＜十勝のアウトドア情報の発信＞

通過型観光から滞在型観光の拠点を志向するためには、多種多様なアクティビティを用意する必要があります。

更別村では、スピードウェイ、釣り堀、パークゴルフ等の施設があるものの、限定的であることから、帯広空港に近いという利点を活かし、十勝の野遊びやアウトドア情報を集約し提供することで「十勝に野遊びに来たらまずは更別村を訪れる」というブランド化を狙います。

国立公園内のビジターセンターが、当該国立公園の情報を集約および発信しているように、野遊びやアウトドアを目的に十勝を訪れた観光客が、



最初に立ち寄るコンシェルジュ的な場所・施設としての地位の確立を目指します。

北海道十勝エリアで四季を通じて楽しめる野遊びのアクティビティやアウトドア情報を市町村の垣根を越えて集約することで、顧客の満足度を高めます。

十勝の美しいフィールドを楽しむサイクリングやトレッキング、キャンプなどを紹介するだけでなく、ツアー等の手配を可能とし、また、グリーンシーズンだけでなくホワイトシーズンの運営も行い、冬ならではの美しい十勝の野遊びも提供していきます。

【事業内容】

- ・十勝の野遊び情報の集約および発信
- ・十勝全域の野遊びアクティビティの紹介及び手配
- ・二次交通の手配、提供

【参考事例】

信越自然峡アクティビティーセンター（長野県飯山市）

SHINETSU-SHIZENKYO
ACTIVITY CENTER
信越自然郷エリア オフィシャルアウトドア情報

English

0269-62-7001 レンタル予約

WHAT'S NEW

信越自然郷の各地から届けられた新着情報

2018 信州・飯山 ロゲイニング
ロゲイニング

斑尾マウンテンバイクツアー
サイクリング

秘密の林道&麁村ファットバイクツアー
サイクリング

▶ もっと見る

3 その他のプロジェクト

(1) 案内表示（看板等）のリニューアル

幹線道路である国道 236 号線、高規格幹線道路帯広広尾自動車道、旧広尾道路の 3 路線から村内中心街や主要施設を案内する案内表示板（看板）は、デザインが平凡であり、かつ、比較的小型であるために見過ごされやすいとの指摘があります。

視認しやすい案内表示とするほか、看板に統一感を持たせ、村内の施設を訪れたゲストを他の施設等へ誘導できるよう順次リニューアルします。

(2) 公共施設の稼働率向上

<公共施設の効率的な運営>

季節ごとの稼働率変動の大きい施設や稼働率の低い施設、用途の重複がある施設等の課題を整理し、統廃合を含め用途や運営形態の見直しを行います。

<公共施設のネーミング変更>

市街地公共施設の稼働率が低い（平日昼間など）要因の一つとして、施設のネーミングの問題が指摘されています。例えば、福祉の里温泉については、その名称から受けるイメージから高齢者等の利用を目的とした施設であり、一般の利用が制限されていると誤解していたとの指摘があります。

その他の公共施設のネーミングについても、村外の利用者により多く利用してもらえるような親しみがあるネーミングへの変更や愛称付与を検討します。

(3) ウォーキングコースの設定と環境整備

自然を楽しみながら散策できるウォーキングコースを設定し、認知度を高めるためにガイドを活用したウォーキングイベントの実施などを検討します。

また、ウォーキングに適した環境整備も併せて検討します。

(4) 花いっぱい活動

更別村商工会や更別村環境美化推進協議会、村、行政区などが連携し、継続して取り組みます。

(5) 未利用空き家（廃屋）の整理

空き家バンクの登録を進めるほか、利活用の見込みのない空き家（廃屋）については撤去費用の支援制度創設等を検討します。

(6) 情報発信力の強化

村内で開催されるイベントや観光情報・風景等、更別村の様々な情報をより多く、かつタイムリーに発信するよう、Facebook、Instagram等のSNSを活用した情報発信力の強化に努めます。

資料編

1 平成30年度事業報告

(1) 協議会・ワークショップ運営

① キックオフミーティング

実施日：平成30年6月29日

会場：さらべつカントリーパーク

内容：ブランディング事業の説明、更別村ブランディング協議会の設立について

② 第1回更別村ブランディング協議会

実施日：平成30年8月22日

会場：道の駅さらべつ（アウトドア会議形式）

ワークショップ「村の魅力と資源について考える」

(1) 十勝のイメージ

各グループから「十勝のイメージ」についてあげてもらったところ、『景観・自然』に関するものとしては、「広大な畑」、「空気が澄んでいる」、「星空がきれい」等、『食資源』に関するものとしては、「農作物がおいしい」、「牛」等があげられた。また、『地域・住民』に関しては、「人々が優しい」、「十勝と地域の総称で呼ばれる」があげられた。



■景観・自然

- ・雄大な日高山脈が眺望できる
- ・広大な土地
- ・広大な畑
- ・広大な畑作景観
- ・緑がいっぱい
- ・自然豊か
- ・空気が澄んでいる
- ・空気がおいしい
- ・道がまっすぐ
- ・星空がきれい
- ・田舎

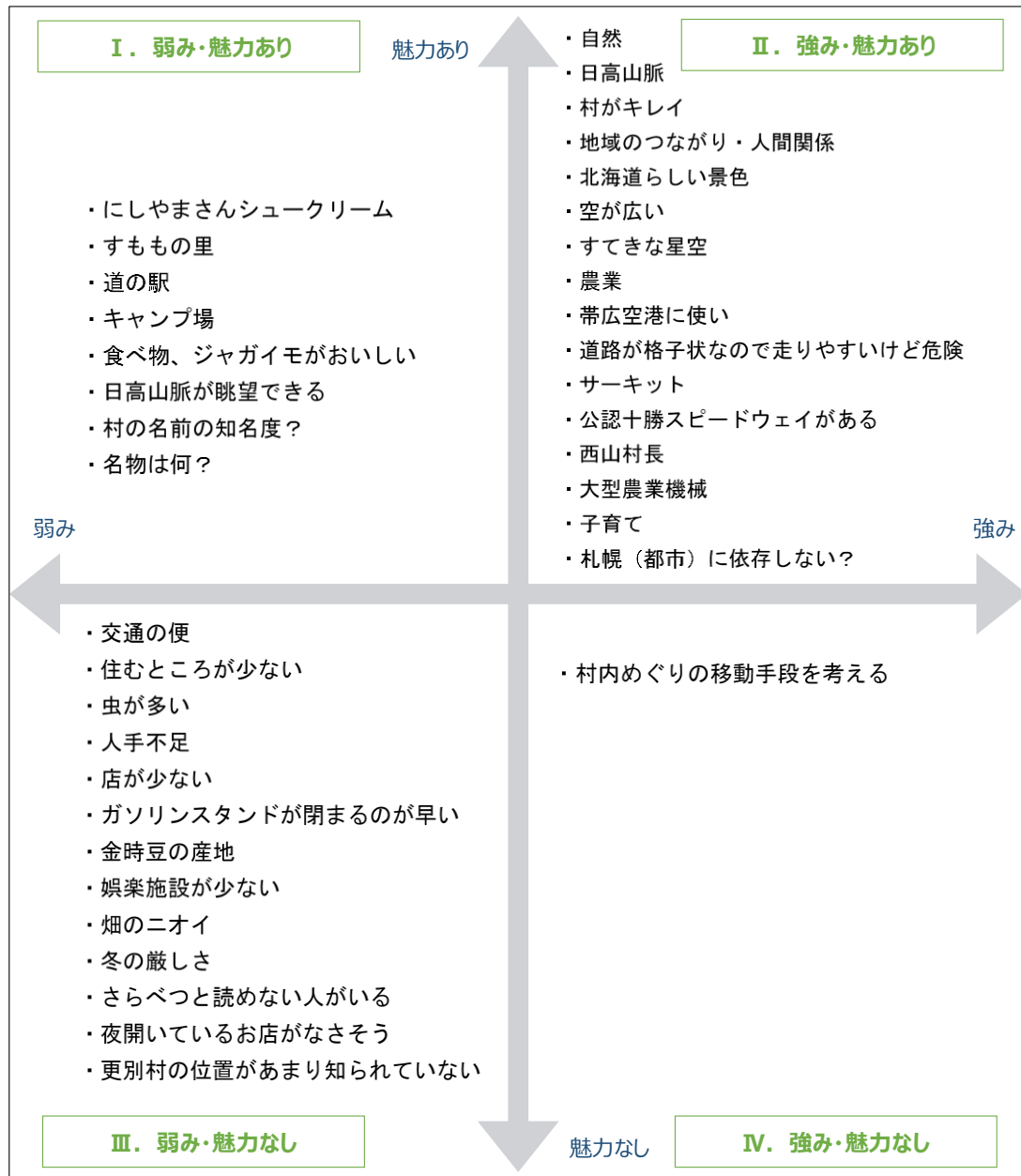
■食資源

- ・豊かで広い（食）
- ・平野→牧場→牛、平野→畑→野菜
- ・食べ物がおいしい
- ・美味しい、十勝であれば
- ・川で魚が釣れる
- ・食糧生産基地
- ・農作物がおいしい
- ・牛
- ・農業
- ・畑作が盛ん

■地域・住民

- ・人々が優しい
- ・「十勝」と地域の総称で呼ばれる

(2) 村観光の強みと弱み



(3) グループワーク

各グループで、「東京から友人が来たら、どこへ連れていくか」について、旅行企画を議論してもらった。考える上で、現在は実施されていない「夢のコンテンツ」を必ず1個以上入れることを条件とした。

各グループのアイデアは下記の表にまとめた。

Aグループのターゲットは「親戚とその友達家族」で、ヘリコプターやスポーツカーの乗車体験や、キャンプをしながら天体観測を行うツアーを企画した。

Bグループでは、ターゲットは「友達」で、鹿の狩猟や農業・酪農体験、キャンプ、サーキットを体験するアイデアが発表された。

Cグループでは 30 代友人をターゲットとし、サイクリングや溪流釣り、キャンプ、BBQ を楽しむツアーが企画された。

Dグループでは 20 代男性がターゲットで、ドローンと 360 度カメラを使った VR コンテンツの制作や金時豆料理づくしを村民と一緒に味わうアイデアが出された。

グループ	発表内容	
A	<p><ターゲット> ・親戚とその友達家族</p> <p><旅行企画> <u>〇一日目</u> 帯広空港 ↓ もう一度空へ ヘリコプター、スカイダイビング ↓ 農地(牧草地、小麦畑)へ着地 ↓ 季節に応じたメニューの提供 ↓ スピードウェイ(スポーツカーで移動) ↓ カントリーパーク(グランピング) 更別和牛・アスパラを堪能 ↓ 天体観測ツアー ↓ 就寝</p>	<p><夢のコンテンツ> ・ヘリコプター、スカイダイビング</p> <p><u>〇二日目</u> 日高山脈を見ながらの朝食 更別産小麦・加工品等を堪能 ↓ 親戚宅 ↓ キャンピングカーで空港へ</p>
B	<p><ターゲット> ・友達</p> <p><旅行企画> <u>〇一日目</u> 鹿撃ち ↓ 農作業体験 ジャガイモ、トウキビ、トマト 酪農体験 牛の乳搾り、牛に乗る ↓ 畑の中でキャンプ</p>	<p><夢のコンテンツ> ・鹿撃ち、牛に乗る</p> <p><u>〇二日目</u> サーキット体験 ↓ 道の駅でお土産購入</p>

	<p>鹿撃ちの鹿肉、農作業体験で収穫した野菜を堪能</p> <p>↓</p> <p>満天の星空</p>	
C	<p>～更別大空満喫プラン～</p> <p><ターゲット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・30代友人 <p><旅行企画></p> <p>○一日目</p> <p>10:00 帯広空港着</p> <p>↓</p> <p>自転車で移動(以降、移動は自転車)</p> <p>サイクリングロード</p> <p>↓</p> <p>11:30 昼食</p> <p>かっこう料理店(→割烹料理店?)</p> <p>↓</p> <p>13:00 勢雄小学校近くで溪流釣り</p> <p>ニジマス・ヤマメ</p> <p>↓</p> <p>キャンプ</p> <p>釣った魚、更別産野菜のカレー</p> <p>夕日、星空を堪能</p>	<p><夢のコンテンツ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード、温泉を掘り当てる(整備) <p>○二日目</p> <p>朝日を眺める</p> <p>↓</p> <p>午前中 温泉</p> <p>↓</p> <p>昼食</p> <p>BBQ</p> <p>↓</p> <p>サイクリングロード</p> <p>↓</p> <p>夕方 帯広空港</p>
D	<p>～エコで更別思い出作り365～</p> <p><ターゲット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代男性 3～4名 <p><旅行企画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動は電気自動車、ソーラーカー、自転車等 ・宿泊は民泊を利用 ・ドローンを使って360度カメラで景色を撮影し、VRコンテンツを作成。 ・金時豆料理づくしを村民と一緒に堪能 	<p><夢のコンテンツ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車 ・民泊 ・ドローン、360度カメラ、VRコンテンツ



③ 第2回更別村ブランディング協議会

実施日：平成30年11月15日

会場：地域創造複合施設

ワークショップ「アウトドアと農業をどう連携させていくか」

■グループ1の提案

更別オンリーワンの体験メニュー：麦ロールを使ったキャンプサイト

場所：優しい農家さんの麦畑の収穫後の畑

営業する時期・期間：畑が空く8月中旬から10月末

PR方法：ユーチューバーを使ったPR

討議結果：麦畑の収穫後の畑を借り、つくった麦ロールを利用しキャンプサイト（自分でテントの壁として、ロールを使って上に、例えばアクリル板を乗せて、黒い幕をかけて、朝になって剥がしたら朝日が上から注ぎ込んでくる等）づくりが考えられる。トラクターを自分で動かし、そのロールを移動させてみたりするのは、ちょっとファンタジー体験になると思う。営業期間は、8月中旬から10月末の期間で、時間は24時間営業で、キャンプ場みたいな形でやりたいと思う。PR方法は、ヒカキン等のプロのユーチューバーを連れてきてアップしてもらい、PRしていきたい。

■グループ2の提案

更別オンリーワンの体験メニュー：春の植え付けや秋の収穫などの農業体験をメインとした川釣りやキャンプなどの様々な体験

場所：後継者がいない農家などを逆手にとって利活用

営業する時期・期間：春先や秋の収穫時期など

PR方法：飛行機から見える畑の「絵文字」など

討議結果：メインは農業体験。春から秋にかけて、特に春の植え付け、秋の収穫時期に来てもらって農業体験。その他、川に行き釣りを、近くのキャンプ場でキャンプをしよう。PR方法としては、空港が近いので、村内を3カ所でも4カ所でも5カ所でも、絵文字をつくる。絵文字の書いてあるところにスタンプを置いておいて、村内をぐるぐる回っていろいろ楽しめるのではないかな。

④ 第3回更別村ブランディング協議会

実施日：平成31年3月5日

会場：地域創造複合施設

ワークショップ「モニターアンケート調査結果」「ブランディング構想案」

■村内で今後活用・連携できる施設

- ・アスレチックの設置

道の駅や旧試験圃にロープの橋などを設置する。役場の壁でボルダリングなど。

- ・福祉の里温泉

サウナや露天風呂もあり、パークゴルフ場や大型遊具にも近くにある。

- ・釣り堀

釣りをしたことがない人も行けるようインストラクターを付けてはどうか。

■更別をハブにしたアウトドアツアー

- ・更別村→池田ワイン城→更別村

池田のワイン城でワインを楽しんで帰ってくる。移動はドローンかスノーモービル。

- ・更別村→花畑牧場→更別村
サイクリングで花畑牧場へ行き、動物との触れ合い、搾乳体験、乳製品加工体験、食事をして帰ってくる。
- ・その他
トラクターで畑巡りをして熱気球で帰ってくる。
馬そりで学校へ行って、コッペパンと牛乳を飲んで帰ってくる。

(2) モニターアンケート調査結果（概要）

① 調査概要

現在、更別村内にある様々な「価値」をブランドとして明確にするため、モニターアンケート調査を実施した。また、地域創造複合施設内にスノーピークの「住箱」を設置し、併せてモニター調査を行った。

(1) 調査項目

	調査項目
(1) 回答者属性	①性別 ②年齢 ③居住地
(2) 更別村への訪問状況	①更別村への来訪頻度 ②更別村で行ったことのある場所
(3) 今回の来訪について	①今回の同行者数、同行者との関係 ②今回の来訪目的 ③今回の予約・手配、情報収集など ④今回の移動経路、交通手段など
(4) 更別村について	①更別村との接点 ②更別村の印象 ③住民の印象 ④観光地としての評価 ⑤更別村の今後 ⑥必要なこと
(5) 「住箱」について	①良い点 ②悪い点 ③今後の利用意向 ④更別村内で住箱を設置する場合のお勧めの場所
(6) ご意見	意見等

(2) 調査対象

地域創造複合施設来場者（熱中小学校受講者、更別村民ほか）

(3) 調査時期

配布期間：平成 31 年 1 月 12 日（土）～2 月 12 日（火）

回収期間：平成 31 年 1 月 12 日（土）～2 月 26 日（火）

「住箱」設置期間：平成 31 年 1 月 8 日（火）～2 月 12 日（火）

(4) 配布・回収方法

アンケート調査票及び返信用封筒（切手不要）を渡し、後日郵送にて回収

配布数は 150 名、回答数は 36 名（24%）

② アンケート調査結果

(1) 回答者属性

・性別

男性が 55.6%、女性が 38.9%となっています。

・年齢

50 歳代が最も多く 30.6%、次いで 40 歳代が 19.4%、60 歳代が 16.7%となっています。なお、10 歳代以下、70 歳代以上からの回答はありませんでした。

・居住地

居住地は、十勝圏が最も多く 50.0%、次いで更別村が 22.2%、道外が 13.9%となっています。道外の居住地としては、東京、大阪、京都があげられています。なお、十勝圏及び道外の 2 地域居住との回答が 1 件ありました。

		合計	～10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	無回答
全体		36	0	5	5	7	11	6	0	0	2
			0.0%	13.9%	13.9%	19.4%	30.6%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%
性別	男性	20	0	2	4	6	6	2	0	0	0
		55.6%	0.0%	5.6%	11.1%	16.7%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	14	0	3	1	1	5	4	0	0	0
	38.9%	0.0%	8.3%	2.8%	2.8%	13.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
居住地別	更別村	8	0	0	0	4	2	2	0	0	0
		22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	十勝圏	17.5	0	3	3	2	6.5	3	0	0	0
		48.6%	0.0%	8.3%	8.3%	5.6%	18.1%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	札幌圏	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
		5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他道内	4	0	0	2	0	1	0	0	0	0	
	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
道外	4.5	0	2	0	0	0.5	1	0	0	0	
	12.5%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	

(2) 更別村への訪問状況

・更別村への来訪頻度

全体では「月に 1～3 回」が最も多く 36.1%、「年に数回」及び「はじめて」がいずれも 16.7%となっています。

居住地別について、更別村以外をみると、十勝圏は「月に 1～3 回」が最も多く、札幌圏及び道外はいずれも「はじめて」、その他道内は「年に数回」が最も多くなっています。

		合計	毎日	週1~6回	月1~3回	年に数回	数年に1回	過去に数回	初めて	無回答
全体		36	9	0	13	6	1	1	6	0
			25.0%	0.0%	36.1%	16.7%	2.8%	2.8%	16.7%	0.0%
年齢別	20歳代	5	0	0	1	1	1	0	2	0
		13.9%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%	5.6%	0.0%
	30歳代	5	1	0	1	2	0	1	0	0
		13.9%	2.8%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
	40歳代	7	4	0	2	0	0	0	1	0
		19.4%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
	50歳代	11	2	0	6	2	0	0	1	0
	30.6%	5.6%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	
60歳代	6	2	0	3	1	0	0	0	0	
	16.7%	5.6%	0.0%	8.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
居住地別	更別村	8	8	0	0	0	0	0	0	0
		22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	十勝圏	17.5	1	0	11.5	3	1	1	0	0
		48.6%	2.8%	0.0%	31.9%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
	札幌圏	2	0	0	0	0	0	0	2	0
		5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
その他道内	4	0	0	1	2	0	0	1	0	
	11.1%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	
道外	4.5	0	0	0.5	1	0	0	3	0	
	12.5%	0.0%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	

・更別村で行ったことのある場所

「熱中小学校」が最も多く94.4%、次いで「十勝スピードウェイ」、「道の駅さらべつ」がいずれも52.8%となっています。

その他としては、「すももの里」、「ふるさと館」があげられていました。

更別村内のお店としては、「お菓子のニシヤマ」、「ピッツェリア Tuka」、「御食事処 あさひ」、「かつこう料理店」、「中国菜館 翡翠樓」、「パン舎」、「レストハウスかしわ」、「鳥せい更別店」、「熱中食堂」、「食堂わがや」があげられていました。

		合計	さらべつ カントリーパーク	十勝ス ピード ウェイ	ファミ リーパー クさらべ つ	熱中小 学校	どんぐり 公園プ ラムカ ントリー	大型遊 具	道の駅	その他	お店	無回答
全体		36	15	19	8	34	12	11	19	3	11	1
			41.7%	52.8%	22.2%	94.4%	33.3%	30.6%	52.8%	8.3%	30.6%	2.8%
年齢別	20歳代	5	0	1	0	4	1	1	0	0	1	0
		13.9%	0.0%	2.8%	0.0%	11.1%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
	30歳代	5	1	3	1	5	1	2	2	1	3	0
		13.9%	2.8%	8.3%	2.8%	13.9%	2.8%	5.6%	5.6%	2.8%	8.3%	0.0%
	40歳代	7	4	5	3	6	3	3	6	0	3	1
		19.4%	11.1%	13.9%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	2.8%
	50歳代	11	6	6	2	11	6	4	7	1	2	0
	30.6%	16.7%	16.7%	5.6%	30.6%	16.7%	11.1%	19.4%	2.8%	5.6%	0.0%	
60歳代	6	4	4	2	6	1	1	4	1	2	0	
	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%	16.7%	2.8%	2.8%	11.1%	2.8%	5.6%	0.0%	
無回答	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地別	更別村	8	7	7	7	8	6	6	8	1	3	0
		22.2%	19.4%	19.4%	19.4%	22.2%	16.7%	16.7%	22.2%	2.8%	8.3%	0.0%
	十勝圏	17.5	7	11	1	17	6	4	10	1	6	0
		48.6%	19.4%	30.6%	2.8%	47.2%	16.7%	11.1%	27.8%	2.8%	16.7%	0.0%
	札幌圏	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
その他道内	4	1	1	0	4	0	1	1	1	2	0	
	11.1%	2.8%	2.8%	0.0%	11.1%	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	5.6%	0.0%	
道外	4.5	0	0	0	5	0	1	1	0	1	0	
	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.9%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	

(3) 今回の来訪について

- ・ 今回の同行者数、同行者との関係

「1人」が最も多く69.4%、次いで「2人」が19.4%となっています。
 なお、同行者との関係には、「友人」、「家族」があげられていました。

	合計	年齢別						居住地別				
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	更別村	十勝圏	札幌圏	その他道内	道外
全体	36	5	5	7	11	6	2	8	17.5	2	4	4.5
		13.9%	13.9%	19.4%	30.6%	16.7%	5.6%	22.2%	48.6%	5.6%	11.1%	12.5%
1人	25	4	4	3	8	5	1	5	10.5	2	4	2.5
	69.4%	11.1%	11.1%	8.3%	22.2%	13.9%	2.8%	13.9%	29.2%	5.6%	11.1%	6.9%
2人	7	1	1	2	1	1	1	1	5	0	0	2
	19.4%	2.8%	2.8%	5.6%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	13.9%	0.0%	0.0%	5.6%
3人以上	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	0
	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・ 今回の来訪目的

熱中小学校実施日が含まれていたことから、「熱中小学校参加」が68.1%と最も多く、次いで「観光」が13.9%となっています。

	合計	年齢別						居住地別				
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	更別村	十勝圏	札幌圏	その他道内	道外
全体	36	5	5	7	11	6	2	8	17.5	2	5	4.5
		13.9%	13.9%	19.4%	30.6%	16.7%	5.6%	22.2%	48.6%	5.6%	13.9%	12.5%
熱中小 学校参	24.5	2	4	3	10.5	5	0	5	15.5	1	3	0.5
	68.1%	5.6%	11.1%	8.3%	29.2%	13.9%	0.0%	13.9%	43.1%	2.8%	8.3%	1.4%
観光	5	3	0	0	0	0	2	0	1	0	1	3
	13.9%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	8.3%
仕事	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%
買い物	0.5	0	0	0	0.5	0	0	0	0	0	1	0
	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%
帰省	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・今回の予約・手配、情報収集など

「インターネット」が最も多く 55.6%、次いで、「無回答」及び「特に無し」を除くと「熱中小学校からのメール」が 8.3%となっています。

	合計	年齢別						居住地別				
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	更別村	十勝圏	札幌圏	その他道内	道外
全体	36	6	5	9	12	6	2	6	21	3	3	5
		16.7%	13.9%	25.0%	33.3%	16.7%	5.6%	16.7%	58.3%	8.3%	8.3%	13.9%
インター ネット	20	5	3	2	5	3	2	3	9	1	3	4
	55.6%	13.9%	8.3%	5.6%	13.9%	8.3%	5.6%	8.3%	25.0%	2.8%	8.3%	11.1%
熱中小学校 からのメール	3	0	0	1	1	1	0	0	3	0	0	0
	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Faceboo k	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
TV	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
新聞	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
口コミ	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
特になし	4	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	11.1%	0.0%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	0	0	4	4	1	0	3	5	1	0	1
	25.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	2.8%	0.0%	8.3%	13.9%	2.8%	0.0%	2.8%

- ・今回の移動経路、交通手段など

「自家用車」「車」との記載が最も多く 83.3%、「飛行機」が 11.1%、無回答が 5.6%となっています。

(4) 更別村について

- ・更別村との接点

熱中小学校実施日が含まれていたことから、「熱中小学校」が 38.9%と最も多くなっています。次いで「職場」が 19.4%、「出身地」「居住地」が 16.7%となっています。

	合計	年齢別						居住地別				
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答	更別村	十勝圏	札幌圏	その他道内	道外
全体	36	5	5	7	11	6	2	8	17.5	2	4	4.5
		13.9%	13.9%	19.4%	30.6%	16.7%	5.6%	22.2%	48.6%	5.6%	11.1%	12.5%
熱中小 学校参	14	1	2	2	6	3	0	0	11	1	2	0
	38.9%	2.8%	5.6%	5.6%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	30.6%	2.8%	5.6%	0.0%
職場	7	1	1	2	1	2	0	3	2.5	0	0	1.5
	19.4%	2.8%	2.8%	5.6%	2.8%	5.6%	0.0%	8.3%	6.9%	0.0%	0.0%	4.2%
出身地 居住地	6	0	2	1	2	1	0	4	1	0	1	0
	16.7%	0.0%	5.6%	2.8%	5.6%	2.8%	0.0%	11.1%	2.8%	0.0%	2.8%	0.0%
ネットで 見た	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
TVで見 た	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	8.3%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%
無回答	4	1	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0
	11.1%	2.8%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	2.8%	0.0%	0.0%

- ・更別村の印象（地域資源や観光、物産、産業などの印象など）
 プラスの印象としては、「大規模農業」「広い農地」が多くあげられています。
 一方、マイナスの印象としては、「観光振興不足」が多くあげられています。

	村外回答者	村内回答者
プラスの印象	広い農地、畑が美しい、風景(日高の山並み)、大規模農業、農家が裕福、裕福な村、先端的な取組、チャレンジしている、地域おこしに積極的、食べ物がおいしい、十勝スピードウェイがある、空港が近い、スモモ	大規模農業、平坦、スポーツ施設が充実、静かなところ、自然
マイナスの印象	ありきたりな風景、ここだけというイベントがない、霧氷や農村地帯を観光や物産に結び付けられていない、村外周辺に観光施設が多い、活気がない、過疎の町、店が少ない	観光がない、物産が少ない、知名度がない、ふるさと納税が悪い、農業が消費者とつながっていない、外から人が遊びに来る場所に乏しい、人がいない、高齢化、商業・農業が中札内より弱い

・住民の印象

プラスの印象としては「親しみやすい」、「気さく」、「親切」、「スポーツが盛ん」等があげられています。一方、マイナスの印象としては、「新しいことに慎重」との意見もあげられています。

	村外回答者	村内回答者
プラスの印象	親しみやすい、おおらか、気さく、親切、声をかけたら必ず対応してくれる、役場の人優しい、人が好意的、色々なことに熱心、明るく社交的な人が多い、スポーツに熱心	親しみやすい、スポーツ大会が盛ん、優しい、まじめ、気さく、人柄がよい
マイナスの印象	気が強い、声をかけにくい、人がいないのでわからない、出会う機会がない	新しいことに慎重、仲が良いとは思わない

・観光地としての評価

プラスの評価としては、「空港からの近さ」、「癒しがある場所」などがあげられています。一方、マイナス評価としては、「観光名所不足」や観光に関わる「プロモーション不足」があげられています。

	村外回答者	村内回答者
プラスの印象	空港が近い、帯広から近い、十勝らしい自然が多い、食が良い、都会と離れて癒される場、広い公園、子どもがたくさん遊べる環境、スピードウェイ、霧氷の撮影ポイント、先端農業の体験	施設の整備はよい
マイナスの印象	観光地のイメージは全くない、観光で特段注目するものはない、宿泊施設が少ない、観光案内がない、看板がない、施設の開館状況がわからない、観光地があるのに何もしていない、村の魅力の自己評価ができていない	観光地が少ない、十勝の他町村より山や川が少ない、名産品が少ない、人材が少ないため観光もない

- ・更別村の今後（どのような展開に可能性を感じるのか（期待するか））

「移住・定住人口の増加」「交流人口の増加」による活性化への期待感があげられたほか、「企業誘致」「スノーピークとの連携」による経済の活性化、「空港からの近さの活用」、「食の良さの活用」、「自然を生かした観光」などへの可能性もあげられています。

村外回答者	村内回答者
交流人口の増加、都会からの移住者の受入れ、企業誘致、スノーピークとの連携、空港が近いメリットを活かす取り組み、自然を PR、インバウンド、わかりやすい施設名、食が良い、鮮度の高い野菜等の道外出荷、普段できないことの体験、親子連れ対象のイベント、名物が欲しい、スマート農業	人口・産業の維持、若者世帯が増えるような施策、若い人が元気になるように、自然を見せる観光 PR、体験型の観光

- ・必要なこと（更別村にとって必要なことは何か）

「情報発信」「企業連携」「移住促進」などのほか、「テレワーク事務所の開設」「アウトドアレンタル」「看板整備」「宿泊場所の確保」など具体的な意見もあげられました。

村外回答者	村内回答者
情報の整理と発信、商店からの発信でロコミを増やす、村民がさらべつの好きなところを発信する、裕福なことを PR、企業との連携、色々な企業と町を挙げて連携、テレワーク事務所の開設、アウトドアレンタル、看板をわかりやすく、宿泊場所の確保、冬のイベント、農業体験、文化体験、空港から直通の交通手段、移住者への援助、他との差別化	若い人の職場と住まい、商業の活性化、企業連携、PR、トラクターBAMBA の様な呼び込めるイベントの再企画

(5) 「住箱」について

- ・良い点、悪い点

良い点は、「温もり」があることをはじめ、「自由に移動」できること、「ナチュラル」で「シンプル」、「おもしろみ」があること等があげられています。

悪い点は、冬の寒さ対策ができていのかどうか「冬期間の懸念」、中が見えるので「人目が気になること」、「見た目」にインパクトがないこと、「木製であることへの懸念」等があげられています。

良い点	悪い点
温かみがある、意外と温かい、トレーラーで移動ができる、ナチュラルな感じ、シンプルで良い雰囲気、面白味がある、おしゃれ、珍しさ、非日常空間、仮設住宅になる	冬に弱そう、寒そう、中が丸見えで人目が気になる、見た目が地味、外観にインパクトがない、木が良いとは思わない、換気が気になる、どういう場所で使うのかわからない、メンテナンスが大変そう

・今後の利用意向

「利用したい」が多数あげられている一方、「更別村にあれば」、「景観の良いところであれば」、「厨房があれば」、「無料なら」、「普通の車で運べるなら」といった条件を合わせてあげられています。

・更別村内で住箱を設置する場合のお勧めの場所

「キャンプ場」をはじめ「道の駅」「畑」「霧氷スポット」「牧草地」「どんぐり公園」などがあげられています。また「村内移動」できるようにしてはどうかとの意見がありました。



(6) 自由意見

自由意見として、「スノーピークへの期待感」として、スノーピークとの連携による取り組み等への意見があげられたほか、景色の良いところなど「非日常的な場所づくり」の必要性、「知名度の向上」についての意見があげられています。

	意見等	性別	年齢	居住地
スノーピークへの期待感	・スノーピークに指定管理。	男性	40 歳代	更別村
	・スノーピークのアパレルを見たい。 ・アウトドア用品のレンタル。	女性	50 歳代	その他道内
	・スノーピークが更別と連携していると聞いた。 ・もっと連携して良い事を実行したら良い(キャンプ場はスノーピークに)。 ・施設の名前はわかりにくい。 ・グーグルマップの表示がされない。看板は付けたほうが良い(熱中)。	男性	20 歳代	道外
	・スノーピークとコラボしたイベントを開催。 ・野外コンサート、村長の熱量にふれるツアー、ガイドツアー、ファームステイ。 ・村内でキャンピングカーが泊っても OK な MAP 作成。	男性	30 歳代	その他道内
非日常的な場所づくり	・一年には四季があるように一日でも更別村の中ではすてきな場所があると思う。 ・朝陽が綺麗な場所、夕陽がきれいなところ、食事の環境がいいところなど 1 日でたくさんの素晴らしいところに移動して非日常的な時間をすごせるところを数箇所作っていただく。	男性	50 歳代	十勝圏
まちのキャラクターの活用	・どんぐりが可愛いので、もっとデザインを使っても良いと思う。 ・施設の屋根とか家の屋根とか帽子とか看板とか。	女性	40 歳代	十勝圏
知名度向上	・知名度を上げる努力。北海道のイメージと合うので PR。	無回答	無回答	その他道内

2 令和元年度事業報告

(1) 協議会・ワークショップ運営

① ミーティング

実施日：平成31年4月19日

会 場：地域創造複合施設

内 容：ブランディング構想（案）について

■意見

- ・プラムカントリーとカントリーパークが紛らわしい
- ・公園の入込数の把握方法があるとよい

② 第1回更別村ブランディング協議会

実施日：令和元年7月22日

会 場：地域創造複合施設

内 容：前年度のまとめ、本年度の進め方

■意見

- ・大型遊具というネーミングは寂しくないか
- ・市街地で土日に空いている店が少ない
- ・施設の名称は、施設の内容を暗示するようなものが良い

③ 第2回更別村ブランディング協議会

実施日：令和元年8月24日

会 場：農村公園（アウトドア会議形式）

内 容：市街地活性化実施計画の評価

ワークショップ「さらべつ遺産について考える」

2グループに分かれ、更別村にとって大切なもの（更別遺産＝食べ物、施設、人など）を活性化させ、賑わいを持たせるアイデアを出し合った。



	大切なもの(更別遺産)	活性化のアイデア
Aグループ	飲食店(お菓子のニシヤマ、食彩空間 ほそや、さらべつチーズ工房、御食事処あさひ等) 公園・施設(さらべつすもの里、どんぐり公園、ma・na・ca 等) 文化・歴史(さらべつかしわ太鼓、上更別豊年踊り等) その他(村の花スズラン、星空等)	村長がSNSで情報発信、公園をライトアップ、有名人を呼ぶ。 観光協会や地域おこし協力隊、その他ボランティアの協力を得る。 更別村でしか売っていないものを売る。
Bグループ	農業(広大な農地、畑、ジャガイモの花、大型トラクター等) 景観のよさ(星空、雪原、直線道路等) 食(牛乳、イオンたまご等)	ロコミ、SNSでの情報発信は広がり期待でき、村外にPRができる。 農村公園で飲食物を手軽に購入できるよう売店やキッチンカーを設置。 ドラマのロケ地になる。朝市の実施。

④ 第3回更別村ブランディング協議会

実施日：令和2年3月18日

会 場：役場3階大会議室

内 容：市街地活性化実施計画の評価について

■交流拠点施設整備 (ma・na・ca)

- ・抽選会以外であまり利用されていないのでは。
- ・平日に5～6人で集まってしゃべっているのを見たことがあり、良いと思った。
- ・会議で使っている。
- ・バス停ができて便利になった。
- ・外部の人は道の駅に行くと思うので、道の駅を市街地に移す検討をすべき。

■市街地誘導看板の設置

- ・施設の名称変更をして、統一的な看板で案内してはどうか。
- ・高規格道路の忠類の看板はよい。
- ・高規格道路から見える農協倉庫の壁を看板にしてはどうか。

■市街地マップの作成

- ・商工会や観光協会などいろいろところでパンフレットを作っている。
- ・いろいろあるが、高速のインターチェンジなどにあまり置いていない。
- ・コストはかけられないが、まめに更新することが大事。

■市街地歩道、道路、ウォーキングコースの整備

- ・歩道、道路の整備は総合計画で推進。
- ・南6線から道の駅まで森林を楽しめるコースや銘木巡り、写真スポットのコース。
- ・ウォーキングに興味のある人を集めて、イベントをやってみてはどうか。
- ・既存のイベントと合わせてやってみてはどうか。

■市街地街路樹の整備

- ・桜の季節に商店街桜ロードになるなど、特色を持たせてはどうか。
- ・桜は寒くて育たない。すももの木には虫がつくし、商店街の管理が大変では。

■杜づくり活動、花いっぱい運動

- ・どんぐり公園の林の中にスズランが見られる遊歩道を整備しては。
- ・商店街の街路樹を花にできないか。

■廃屋の撤去

- ・廃屋の撤去は持ち主の希望に左右される。
- ・高齢化が進む中で、撤去希望者の支援措置も検討してはどうか。

■運動広場の機能向上

- ・スケート小屋を開放して、休める場所にしてはどうか。管理は団体へ委託。
- ・商店で物販するのはリスクが高い。地元の人でフリーマーケットをしてはどうか。
- ・滞在時間を長くするため、焼き肉できるようにしてはどうか。
- ・道具を貸し出して遊んでもらう。
- ・リピーター化してもらうことが必要。

■冬期間の観光について

- ・冬のトラクター体験。
- ・スノーモービルでバナナボートを引っ張る。

(2) イベント出展「さらべつすももの里まつり」

実施期間：令和元年5月19日

来場者数：1,300名

内容：更別村のブース用と、来場者の飲食、休憩スペースとしてタープ等を展示。毎年、日陰スペース、雨除けスペースが不足していた。更別村としてもこの祭りはじめ、スノーピークのギアを住民の皆様認知してもらうことで、アウトドアでの町おこしや利用方法などの多様性を考えてもらうきっかけとなればと実施した

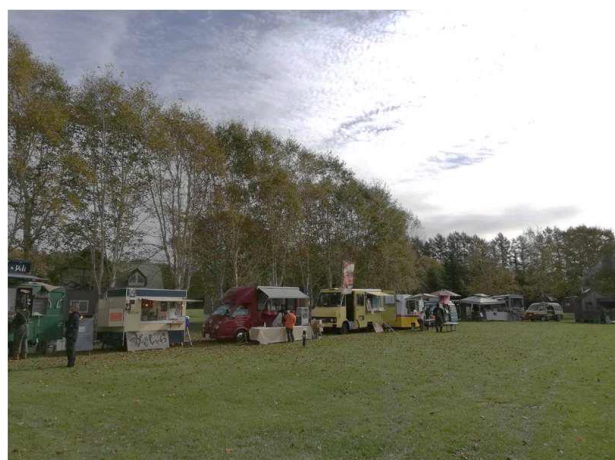


(3) イベント出展「スロウ村の仲間たち 2019」

実施期間：令和元年 10 月 14 日

来場者数：3,500 名

内容：更別村ブースと飲食、休憩スペースとして出店。天気もよく、利用しているお客さまは多く、空気が殆どなかった。更別村としてアウトドアを全面に押しだしていくことを、認知してもらうことが目的の一つ。道の駅のお弁当販売や、地元農家様のじゃがいもつかみ取りや野菜の販売フォローを実施。会場のカントリーパークとも、今後連携した事業ができないか検討していきたい。



3 令和2年度事業報告

(1) 協議会・ワークショップ運営

① 第1回更別村ブランディング協議会

実施日：令和2年7月22日

会場：農村公園（アウトドア会議形式）

内容：前年度のまとめについて、本年度の進め方について

結果：実証実験（アウトドアオフィス、どこでもバーベキュー）の実施



② 第2回更別村ブランディング協議会

実施日：令和3年2月25日

会場：更別村役場 3階 大会議室

内容：さらべつまるごとブランディング計画（案）について
ワークショップ「更別版大型マルシェに欲しいサービスについて」

ワークショップの内容：先行事例として、紫波町の「オガール」の事例を紹介。更別版大型マルシェに欲しいサービスの内容を「衣」「食」「住」「働」「遊」の 카테고리別に、シートに記入した。



■衣

- ・リサイクルショップ 6票
- ・フリーマーケット 2票
- ・眼鏡屋
- ・クリーニング屋
- ・アウトドア・キャンプ服

■食

- ・ホワイトアスパラガスの料理 3票
- ・蕎麦屋さん 3票
- ・農家カフェ 2票
- ・カフェ 2票
- ・豆腐屋
- ・寿司
- ・うどん
- ・カレー
- ・ハンバーグ
- ・あんこやさん
- ・甘味和菓子
- ・レストラン
- ・地元の料理店主による料理教室
- ・買ったものがすぐに食べられる場所
- ・家庭菜園（つくる・作ったものを持ち寄る）

■住

- ・シェアハウス 5票
- ・本屋 3票
- ・図書館
- ・病院
- ・体育館
- ・ジム
- ・昼に屋内で遊べる場所
- ・キッズニア
- ・コストコ
- ・IKEA
- ・1つ屋根の下で全てのサービスの集約

■働

- ・学習塾（サテライト形式で受講） 2票
- ・いちご狩り
- ・サテライトオフィス
- ・コワーキングスペース
- ・ものづくり
- ・昔の知恵

■遊

- ・釣り具 2票
- ・映画を屋外でも 2票
- ・サウナ 2票
- ・農家体験
- ・ホテル
- ・アウトドアギアレンタル
- ・広場
- ・無人移動バス（運転手がAI、マルシェ内で移動）
- ・youtube ライブ（AIが運転するトラクターからの撮影、野生動物を撮影）

③ 第3回更別村ブランディング協議会

実施日：令和3年3月30日

会場：更別村役場 3階 大会議室

内容：さらべつまるごとブランディング計画（案）について

ワークショップ「未来ニュースワークショップ」

ワークショップの内容：前回のワークショップ結果を振り返り、更別版大型マルシェの未来の姿を、新聞記事形式で記載した。

「未来ニュース」ワークショップ 記入例		* snow peak
更別村の大型マルシェは	<input type="text"/>	でコロナ時代の楽しさを提供！
提供されるサービスは	<input type="text"/>	
必要な施設は	<input type="text"/>	

■「更別村の大型マルシェは〇〇〇でコロナ時代の楽しさを提供！」

- 回答者1…「安全・安心」
- 回答者2…「移住者の聖地」
- 回答者3…「自給自足しにいく」
- 回答者4…「体験型施設」
- 回答者5…「シェアハウス、合宿、簡単リサイクル」
- 回答者6…「自然と共存」
- 回答者7…「どこでもドア」

■「提供されるサービスは

- 回答者1…「ヴァーチャルツアー」
- 回答者2…「ショッピングモールの中にいろいろ」
- 回答者3…「野菜の収穫体験、ふるさと品、野菜の畑・面積」
- 回答者4…「多ジャンルの体験施設（食、農業、遊び、スポーツ、学習）」
- 回答者5…「アウトドアや農業体験などの男女の交流、司会者ありの交流、インターネット販売（リサイクル）を支援するサービス」
- 回答者6…「テレワーク、農業体験、自然と遊ぶ、どこでもキャンプ体験、大型のトラクター乗車」
- 回答者7…「食のドア、遊びのドア、アウトドア、やってみたいドア（農業、ものづくり）」

■「必要な施設は」

- 回答者1…「RVパーク、ワンストップサービス機能+情報プラットフォーム、地元で愛される、観光客と地元の交流、子ども同士、親同士」
- 回答者2…「ショッピングモール」
- 回答者3…「共同キッチン」
- 回答者5…「シェアハウス、男女の交流を支援する企業、インターネット販売（リサイクル）を支援する企業」
- 回答者6…「屋根の開閉できる畑、お試しの滞在住宅、特産品を使った料理を教えてくれる人がいるキッチンスタジオ、村を案内できるガイド」
- 回答者7…「料理（さらべつ、おやじ、ばあちゃん）、サイクリング、昔遊び、パークゴルフ、キャンプ（グランピング）、農業体験、スピードウェイ」

(2) 実証実験「アウトドアオフィス・どこでもバーベキュー

モニターキャンペーン」



実施期間：令和2年8月5日～12日

内容：アウトドア会議やバーベキューを体験できる実証実験を実施した。申込者は事務局に事前連絡することで、タープ、テーブル、チェア、バーベキュー器具などを無料でレンタルできる仕組み。農村公園、すももの里など、普段はアウトドアで利用されない会場で、アウトドアオフィスやバーベキューを体験できる。

結果：期間中に2組の申し込みがあったものの、天候不順でキャンセルとなった。

課題：天候によるキャンセルは、アウトドアの特性として避けられないものである。サービスの実装に向けて、より多くの利用者を得られるように周知が必要である。

(3) 実証実験「キャンプギアの貸出し」

～さらべつグルメRUNへの協力



実施日：令和3年3月13日

内容：さらべつグルメRUNのスタート地点に、どこでもキャンプを想定したタープ、チェア、焚火を提供した。

結果：参加者にアウトドアを手軽に楽しむ環境を提供し、好評を得た。

課題：設営にはアウトドアメーカーのスタッフが立ち会った。今後、自律的にどこでもキャンプを実装するためには、住民やイベント主催者がキャンプギアの取り扱い、設営撤収のノウハウを学ぶ必要がある。



4 更別村ブランディング協議会委員名簿

(敬称略、順不同)

	所属	役職	氏名
観光協会	更別村観光協会	座長	江本 信吉
商工会	更別村商工会事務局	副座長	吉田 匠吾
	更別村商工会青年部		山田 和範
	更別村商工会女性部		氏家 路子
農協	更別村農業協同組合経営相談課	副座長	鈴木 直壽
	更別村農業協同組合青年部		阿部 誠之
	更別村農業協同組合女性部		本多 恵
振興公社	さらべつ産業振興公社		森 稔宏
-	北海道熱中開拓機構		亀井 秀樹
-	十勝スピードウェイ		亀井 誠志郎
-	(株)デスティネーション十勝		佐藤 洸
更別村	企画政策課	課長	佐藤 敬貴
		課長補佐	今野 雅裕
		係長	坂本 裕介
		主事	尾花 圭市
事務局	(株)スノーピーク地方創生コンサルティング	専務取締役	西野 将
			柿原 芳章
			藤島 尚登
	(株)道銀地域総合研究所	業務部長	北嶋 雅見
		主任研究員	柿田 郁子
		研究員	渡邊 真未